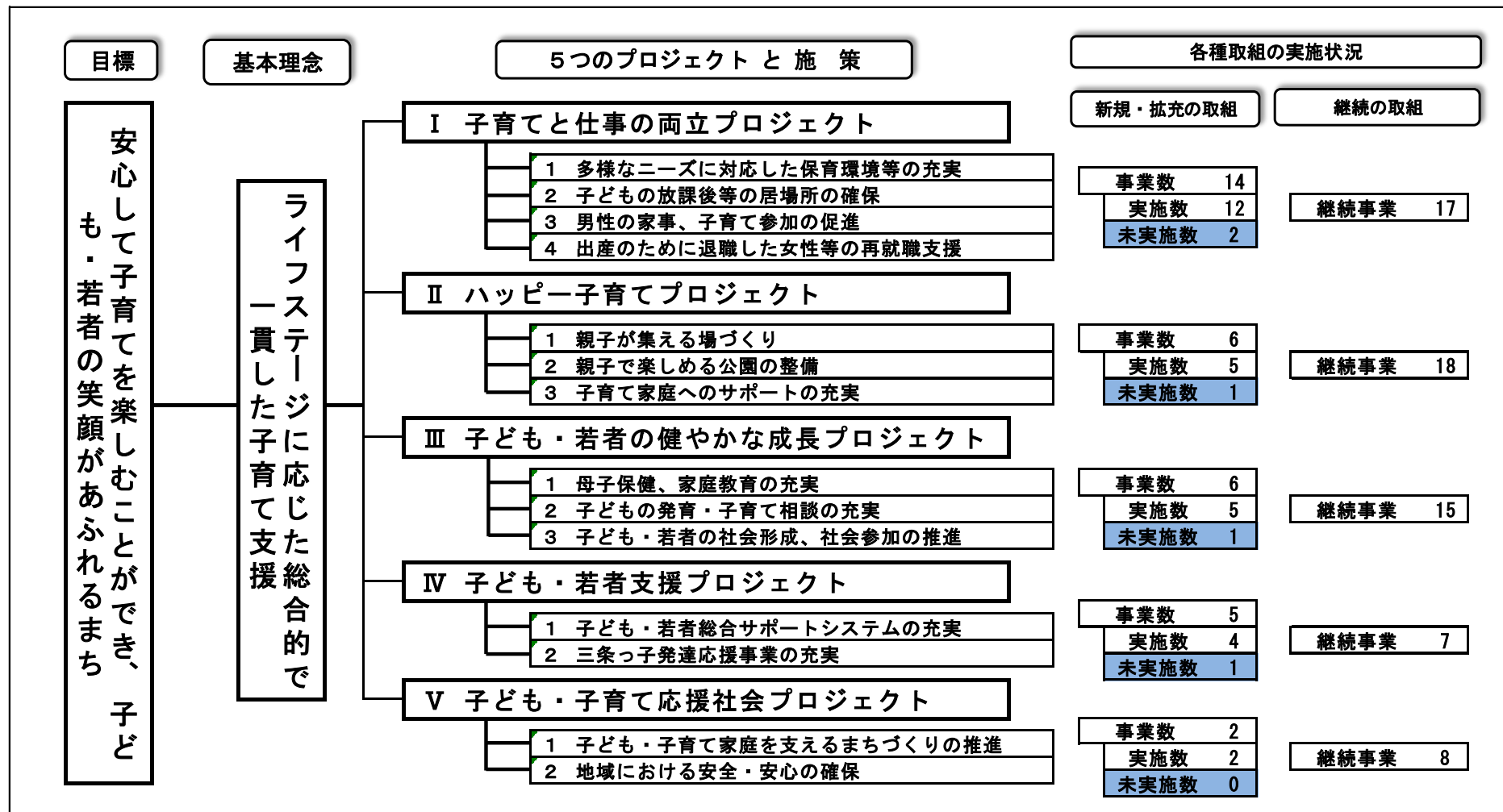


第2期すまいる子ども・若者プランの策定について

- I－1 現計画のまとめと成果指標について
- I－2 現計画の目標達成状況
-
- II－1 三条市の現状
- II－2 現状分析のまとめと課題について
- II－3 新たに捉えたニーズや問題に対する必要な取組
- II－4 子ども・子育て支援法に基づく教育・保育以外の13事業について
-
- III－1 第2期プラン 計画の体系について
- III－2 5つのプロジェクトと各施策及び重点取組について
- III－3 成果指標の設定について
- III－4 子どもの人口の推計
- III－5 子ども・子育て支援法に基づく各事業の量の見込み等について

I-1 現計画のまとめと成果指標について

現計画の体系図



I 子育てと仕事の両立プロジェクト

施策 1 多様なニーズに対応した保育環境等の充実

主な取組(新規拡充)	実施	事業実施状況
1 3歳未満児の保育の拡充	○	■3歳未満児定員の増 182人 ・認定こども園51人・・・ 聖母こども園、松葉幼稚園のこども園化 ・公立保育所75人・・・ 須頃、嵐南、裏館（統合・移転改築） ・地域型保育56人・・・ 済生会三条病院附属保育園たんぽぽ ルーテル幼稚園内どんぐりルーム
2 病児・病後児保育の実施	○	■病児・病後児保育ルーム開設 1日当たり定員10人 ・保育園たんぽぽ内になのはなを開設
3 一時預かりの拡充（幼稚園等）	×	※在園児の延長保育 ➡ 実施不要 保育該当→この度の無償化で対象 その他理由→他事業（私学助成）で対応
4 休日一時保育の拡充	○	■休日一時保育の定員の増 5人 ・あそぼっての開館により定員増加
5 ファミリー・サポート・センター事業の実施	×	※類似事業を民間団体が実施 ➡ 実施不要 （他市は事業継続困難になってきている。）

施策 2 子どもの放課後等の居場所の確保

主な取組(新規拡充)	実施	事業実施状況
1 児童クラブの充実	○	■児童クラブの受入数の増、受入学年の拡充 ・整備・・・井栗、大崎学園 ・開所・・・いちい 他:スペースの拡充 ・閉所・・・三条、松ノ木 ・受入学年・・・3年生から4年生へ（個別事情により6年生まで）
2 （仮称）新放課後子どもプランの策定	○	■放課後の小学校開放による居場所の開設 ・ボランティアが見守り、自由な活動
3 地域における子どもの居場所の創出	○	■4つの地区公民館を開放 ・放課後や長期休みの開放

施策 3 男性の家事、子育て参加の促進

主な取組(新規拡充)	実施	事業実施状況
1 男性向け実践プログラムの実施	○	■男性向けの家事・育児セミナー実施 ・毎年1～3回開催 ・後期実施計画(H31～34)において見直し →子育て世代に対する意識啓発として、 婚姻届提出時にチェックシートの配布
2 対象を絞った効果的かつ効率的な広報活動	○	■上記講座開催時に実施 ・後期実施計画(H31～34)において見直し →上記1の取組と統合

施策 4 出産のために退職した女性等の再就職支援

主な取組(新規拡充)	実施	事業実施状況
1 ハローワークと連携した就職先の紹介	○	■他機関の実施と連携 ・ハローワーク主催で実施 ・新潟日報社主催で実施
2 再就職に向けた就労相談会等の実施	○	■子育て中の女性を対象に相談会を実施 ・子育て拠点施設、ソレイユで実施
3 再就職のためのセミナー等の実施	○	■女性向けセミナーの実施 ・再就職応援セミナーの実施 ・働く女性のスキルアップ、ワークライフバランスセミナーの実施
4 事業所における子育てと仕事の両立に向けた取組への支援	○	■事業所に対して子育てしやすい職場環境改善に向けた講座開催 ・三条おしごとナビを活用した特集、事業所へのセミナーを開催予定

まとめ

1 多様なニーズに対応した保育環境等の充実

- ・保育環境の充実による就労している母親が増加
- ・母親の育児休業取得が増加（就労環境の改善）

〔残された問題・新たな問題〕

- ① 保育士不足、年度途中雇用が困難 → 保育士の確保
- ② 病児病後児保育の料金設定（1日）はパートだと利用しづらい
→ 利用しやすい料金体系（半日料金の設定）
- ③ 未実施事業（幼稚園等の一時預かり、ファミリー・サポート・センター） → 実施不要

2 子どもの放課後等の居場所の確保

- ・児童クラブは整備や受入学年の拡大により利用ニーズ拡大に対応
- ・放課後の過ごし方は、公民館の開放や学校の開放により、多様な居場所を確保

〔残された問題・新たな問題〕

- ① 月岡児童クラブを実施している月岡分館の著しい老朽化
→ 安心して過ごせる場の確保
（小学校内のクラブと統合し学校内への設置の検討）

3 男性の家事、子育て参加の促進

- ・講座やセミナーを実施

〔残された問題・新たな問題〕

- ① 講座等の参加者が少ない
→ 方策の変更（昨年度後期計画検討時に見直し済）

4 出産のために退職した女性等の再就職支援

- ・再就職希望女性に相談会等を実施

〔残された問題・新たな問題〕

- ① 出産のための退職を減らす
→ 事業所への両立支援を働きかける（育児休業取得の向上）

〔成果指標との関連〕

- 保育や児童クラブの拡充による利用者の増加、育児休業取得者の増加の実態から、目標値には至らなかったが指標の7や8は改善されたと考える。
- ニーズ調査の「子育ての主な担い手」は「父母ともに」が増加しているが、指標6（家事や子育て）は前回より悪化していることから、父親について子育てへの参加はかなり満足度が上がってきているが、家事への参加に対しては期待する域に達していないと考えられる。
- 指標4の目標達成は、各種サービスの充実とともに、父親の子育てへの参加が進んだことも要因と考えられる。

I のプロジェクトと成果指標の関連

H25及びH30に実施したニーズ調査と成果指標の目標値との比較により、達成度を測ったもの（合計特殊出生率は未確定）

- ※ 達成状況の記載
- ：目標達成
 - △：目標未達成だが前回よりも改善
 - ×：目標未達成であり前回よりも悪化

成果指標	達成状況	関連該当
1 合計特殊出生率	×	●
2 子育てに不安を感じている人の割合	△	
3 子育てについて気軽に相談できる人がいる割合（市などの相談機関も含む）	×	
4 子育てを負担と感じている人の割合	○	●
5 子育てに幸せを感じている人の割合	×	
6 父親が家事や子育てをしていると思う人の割合	×	●
7 子育てと仕事が両立できていると思う人の割合（仕事をしていない人を除く）	△	●
8 保育（小学生の児童クラブを含む）が充実していると思う人の割合	△	●
9 三条市が子育てしやすいまちであると思う人の割合	×	
10 三条市の子どもが生き生きとしていると思う人の割合	×	

Ⅱ ハッピー子育てプロジェクト

施策 1 親子が集える場づくり

主な取組(新規拡充)	実施	事業実施状況
1 子育て拠点施設等の拡充	○	■嵐北・大崎地区における施設の整備、検討 ・子育て拠点施設あそぼって開館 ・大崎地区子育て支援センター設置の検討

施策 2 親子で楽しめる公園の整備

主な取組(新規拡充)	実施	事業実施状況
1 公共施設跡地を活用した公園の整備	○	■5箇所の公園を整備 ・一ノ木戸ポプラ公園 ・条南あおば公園 ・島田若草公園 ・石上二丁目緑地 ・四日町公園
2 既存公園の遊具等の整備	○	■通常整備のほか、修繕計画を策定 ・公園施設長寿命化修繕計画により整備

施策 3 子育て家庭へのサポートの充実

主な取組(新規拡充)	実施	事業実施状況
1 利用者支援事業の実施	×	※子育て支援事業の情報提供、相談、関係機関との調整等を専任スタッフが行うもの ➡支援センター、拠点施設、子育て支援課（子サポ含む）がこの機能を果たしているため不要
2 保育料算定時の寡婦(夫)控除のみなし適用の実施	○	■税法上適用されない未婚のひとり親家庭にも控除を適用 ・延べ適用者数49人
3 子ども医療費助成の拡充	○	■助成対象の拡充 ・全ての子どもが通院・入院共に中学校修了まで助成

まとめ

1 親子が集える場づくり

- ・あそぼって開設以降、利用者は増加傾向
- ・平日利用及び休日一時保育共にあそぼっての利用割合が増加

[残された問題・新たな問題]

- ① 旧大崎中学校跡地を活用した子育て支援センターの設置

2 親子で楽しめる公園の整備

- ・公園整備のほかに各種イベントも実施
- ・都市公園における遊具の安全確保に関する指針に基づいて、有資格者による遊具の点検・修繕を実施

[残された問題・新たな問題]

- ① 遊具の大規模修繕や入替が必要な場合、より楽しめる遊具への更新を検討

3 子育て家庭へのサポートの充実

- ・H27年度から寡婦(夫)控除みなし適用を実施
- ・子ども医療費助成は、R1.10月から全ての子どもが通院・入院共に中学校修了まで助成

[残された問題・新たな問題]

- ① 利用者支援事業(母子保健型)＝子育て世代包括支援センターの設置

[成果指標との関連]

- 親子が集える場を整備し、拠点施設等での育児・子育て相談機会提供の場が増えたことは、指標2の改善に寄与したと考えられる。
- 寡婦(夫)控除のみなし適用や子ども医療費助成の拡充は、子育て世帯の経済的負担を軽減したことから、指標4の達成に寄与したと考えられる。

Ⅱ のプロジェクトと成果指標の関連

※ 達成状況の記載

○: 目標達成

△: 目標未達成だが前回よりも改善

×: 目標未達成であり前回よりも悪化

成果指標	達成状況	関連該当
1 合計特殊出生率	×	
2 子育てに不安を感じている人の割合	△	●
3 子育てについて気軽に相談できる人がいる割合 (市などの相談機関も含む)	×	●
4 子育てを負担と感じている人の割合	○	●
5 子育てに幸せを感じている人の割合	×	●
6 父親が家事や子育てをしていると思う人の割合	×	
7 子育てと仕事が両立できていると思う人の割合 (仕事をしていない人を除く)	△	
8 保育(小学生の児童クラブを含む)が充実していると思う人の割合	△	
9 三条市が子育てしやすいまちであると思う人の割合	×	●
10 三条市の子どもが生き生きとしていると思う人の割合	×	

Ⅲ 子ども・若者の健やかな成長プロジェクト

施策 1 母子保健、家庭教育の充実

主な取組(新規拡充)	実施	事業実施状況
1 母子の歯科保健の充実	○	■フッ化物洗口の実施 ・保育所(園)、認定こども園、幼稚園で実施
2 「眠育」(早寝、早起き)の啓発強化	○	■眠育の啓発強化策 ・リーフレットの配布 ・市民向け眠育講演会の開催 ・教職員向け眠育研修会の実施 ・モデル地区において眠育調査を実施 ・乳幼児の保健指導に眠育を導入
3 家庭教育講座の拡充	○	■家庭教育講座の実施回数増 ・BP講座 H26:4回 → H30:8回 (H31～初めてのママ講座に変更) ・NP講座 H26:4回 → H31:5回
4 乳幼児とのふれあい学習の充実	△	■保育所(園)等でのふれあい活動実施 ・中学生と園児(幼児)とのふれあい(授業)

施策 2 子どもの発育・子育て相談の充実

主な取組(新規拡充)	実施	事業実施状況
1 出張及び時間外相談の実施	○	■相談会の土曜日開催実施 ・月1回実施

施策 3 子ども・若者の社会形成、社会参加の推進

主な取組(新規拡充)	実施	事業実施状況
1 子ども・若者の意見表明機会の拡充	○	■高校生による意見発表を実施 ・高校生と先輩たちのユーストーク～青少年による座談会～を共催

まとめ

1 母子保健、家庭教育の充実

- ・フッ化物洗口実施や眠育の啓発により、保健の向上
- ・家庭教育の充実による、子育て世代の不安の軽減
- ・BP講座の講師(NPO法人による認定必要)不足があり、独自の初めてのママ講座に変更して実施

[残された問題・新たな問題]

- ① フッ化物洗口の中学生への実施の検討
→ 乳歯の虫歯は減少・・・永久歯の対応必要
- ② 起床及び就寝時刻が不適切な子どもへの対応
(ニーズ調査からも不適切な子どもの割合が判明)
→ モデル地区を拡大し、市全域の実施へ
- ③ 乳幼児とのふれあいの拡大
→ 子どもとの接点が少ない若い親世代への対応検討

2 子どもの発育・子育て相談の充実

- ・土曜日相談の実施により、相談体制の充実

[残された問題・新たな問題]

- ① 来所でなく出張相談の実施
→ 保護者団体等への積極的な出張

3 子ども・若者の社会形成、社会参加の推進

- ・子どもの意見表明機会の創出

[残された問題・新たな問題]

- ① 中学生や高校生以上の意見表明機会について検討
→ 青少年育成市民大会等を活用 (関係団体と協議)

[成果指標との関連]

- 歯科保健や眠育は、直接的な満足度へは繋がらないが、指標の2の改善には繋がったと考えられる。
- 家庭教育や子育て相談の充実も、同じく指標の2の改善に寄与したと考えられる。
- 子ども・若者の社会参加の推進については、子どもの意見表明等の姿を目にする事で、直接的ではないが、指標5の改善にも繋がっていくと考えられる。

Ⅲのプロジェクトと成果指標の関連

- ※ 達成状況の記載
- : 目標達成
 - △: 目標未達成だが前回よりも改善
 - ×: 目標未達成であり前回よりも悪化

成果指標	達成状況	関連該当
1 合計特殊出生率	×	●
2 子育てに不安を感じている人の割合	△	●
3 子育てについて気軽に相談できる人がいる割合 (市などの相談機関も含む)	×	●
4 子育てを負担と感じている人の割合	○	
5 子育てに幸せを感じている人の割合	×	●
6 父親が家事や子育てをしていると思う人の割合	×	
7 子育てと仕事が両立できていると思う人の割合 (仕事をしていない人を除く)	△	
8 保育(小学生の児童クラブを含む)が充実していると思う人の割合	△	
9 三条市が子育てしやすいまちであると思う人の割合	×	
10 三条市の子どもが生き生きとしていると思う人の割合	×	

Ⅳ 子ども・若者支援プロジェクト

施策 1 子ども・若者総合サポートシステムの充実

主な取組(新規拡充)	実施	事業実施状況
1 養育支援訪問事業の実施	○	■妊娠・出産・育児期の養育支援必要者への助産師訪問の実施 ・妊婦訪問 → 育児不安・孤立化防止 ・養育者訪問
2 被虐待児童及び問題行動児童の進行管理の強化	○	■特別な支援が必要な子どもの早期発見・早期支援 ・虐待の重症度A～Dに加え虐待予防と継続的支援のため「要支援」区分を設けた。
3 若者支援の相談体制の強化	○	■青少年育成センターの青少年相談を民間団体に委託 ・委託により相談方法にアウトリーチ(訪問支援)を追加 ・ものづくり学校に設置された青少年の通いの場の利用に繋がる支援

まとめ

1 子ども若者総合サポートシステムの充実

- ・児童虐待対応における進行管理の強化と早期発見・対応支援
- ・青少年相談体制充実のため、アウトリーチによる相談の実施
- ・義務教育後の不登校、ひきこもり対応に向けた高等学校へのサポートシステム、青少年相談の周知

[残された問題・新たな課題]

- ① 対象者の掘り起しと若者の居場所、通いの場への誘導が必要

2 三条っ子発達応援事業の充実

- ・年中児発達参観の各園での実施
- ・発達支援コーディネーター研修(養成、資質向上)の実施

[残された問題・新たな課題]

- ① 年中児発達参観の未実施1園における実施
- ② 各園全体の発達支援に対する知識、能力の底上げが必要

[成果指標との関連]

- ライフステージに応じた様々な相談や対応支援により利用者を捉えれば子育てへの不安の解消や相談先としての認知が進んだものとする。
- 子育てを負担と感じている潜在的な対象者の掘り起しや取組の周知が必要

施策 2 三条っ子発達応援事業の充実

主な取組(新規拡充)	実施	事業実施状況
1 年中児発達参観の全市実施	△	■子どもの育ちや特性の早期発見 ・30施設で実施 ※未実施1施設
2 発達支援に係るコーディネーターの資質の向上	○	■発達支援コーディネーター研修の実施 ・市内公立、私立保育園、認定こども園、幼稚園の全施設にコーディネーター配置

Ⅳのプロジェクトと成果指標の関連

※ 達成状況の記載

○:目標達成

△:目標未達成だが前回よりも改善

×:目標未達成であり前回よりも悪化

成果指標	達成状況	関連該当
1 合計特殊出生率	×	
2 子育てに不安を感じている人の割合	△	●
3 子育てについて気軽に相談できる人がいる割合(市などの相談機関も含む)	×	●
4 子育てを負担と感じている人の割合	○	●
5 子育てに幸せを感じている人の割合	×	
6 父親が家事や子育てをしていると思う人の割合	×	
7 子育てと仕事が両立できていると思う人の割合(仕事をしていない人を除く)	△	
8 保育(小学生の児童クラブを含む)が充実していると思う人の割合	△	
9 三条市が子育てしやすいまちであると思う人の割合	×	
10 三条市の子どもが生き生きとしていると思う人の割合	×	

V 子ども・子育て応援社会プロジェクト

施策 1 子ども・子育て家庭を支える街づくりの推進

主な取組(新規拡充)	実施	事業実施状況
1 「子どもの権利」の啓発強化	○	■子どもの権利尊重チラシ作成・配布 ・機会を捉えた取組の実施

施策 2 地域における安全・安心の確保

主な取組(新規拡充)	実施	事業実施状況
1 通学路の整備	○	■通学路安全推進会議の実施 ・自治会、PTA、警察等関係団体の協力

まとめ

1 子ども・子育て家庭を支える街づくりの推進

・関係団体の事業における子どもの権利を守る取組を進めた。

[残された問題・新たな課題]

- ① 中学生や高校生以上の意見表明機会について検討
→ 青少年育成市民大会等を活用（関係団体と協議）

2 地域における安全・安心の確保

・歩道等ハード整備の要望以外にも冬季のバス乗降場所変更や死角の解消に向けた協議を実施

[残された問題・新たな課題]

- ① 地域の実情を捉えた、身近で即効性のある体制づくりが必要

[成果指標との関連]

- 通学路等の危険箇所を関係者が共通認識し、課題の改善を図ることで子どもや保護者が安心して生活できる環境づくりに繋がる。

V のプロジェクトと成果指標の関連

※ 達成状況の記載

○: 目標達成

△: 目標未達成だが前回よりも改善

×: 目標未達成であり前回よりも悪化

成果指標	達成状況	関連該当
1 合計特殊出生率	×	
2 子育てに不安を感じている人の割合	△	●
3 子育てについて気軽に相談できる人がいる割合（市などの相談機関も含む）	×	
4 子育てを負担と感じている人の割合	○	
5 子育てに幸せを感じている人の割合	×	
6 父親が家事や子育てをしていると思う人の割合	×	
7 子育てと仕事が両立できていると思う人の割合（仕事をしていない人を除く）	△	
8 保育（小学生の児童クラブを含む）が充実していると思う人の割合	△	
9 三条市が子育てしやすいまちであると思う人の割合	×	
10 三条市の子どもが生き生きとしていると思う人の割合	×	

I-2 現計画の目標達成状況

計画の目標である「安心して子育てを楽しむことができ、子ども・若者の笑顔があふれるまち」の達成度を測るために設定した成果指標の目標達成状況（合計特殊出生率は未確定）

➡ 達成: 1項目 未達成ながら改善が見られた: 3項目 未達成: 6項目

(1) 成果指標の達成状況

成果指標	平成25年度 調査時	目標値	平成30年度 調査時	目標達成状況		
				達成	未達成 (改善)	未達成 (悪化)
1 合計特殊出生率	1.48	1.58	1.43			×
2 子育てに不安を感じている人の割合	70.5%	50%	64.4%		△	
3 子育てについて気軽に相談できる人がいる割合 (市などの相談機関も含む)	87.3%	95%	85.4%			×
4 子育てを負担と感じている人の割合	38.4%	25%	21.2%	○		
5 子育てに幸せを感じている人の割合	92.0%	99%	83.8%			×
6 父親が家事や子育てをしていると思う人の割合	72.8%	90%	64.8%			×
7 子育てと仕事が両立できていると思う人の割合 (仕事をしていない人を除く)	60.4% (69.4%)	80%	69.7% (74.6%)		△	
8 保育(小学生の児童クラブを含む)が充実していると思う人の割合	32.4%	70%	33.4%		△	
9 三条市が子育てしやすいまちであると思う人の割合	47.9%	70%	24.7%			×
10 三条市の子どもが生き生きとしていると思う人の割合	62.4%	80%	34.3%			×

(2) 成果指標と各プロジェクトとの関連

成果指標	達成状況	各プロジェクトとの関連				
		I 子育てと仕事の両立プロジェクト	II ハッピー子育てプロジェクト	III 子ども・若者の健やかな成長プロジェクト	IV 子ども・若者支援プロジェクト	V 子ども・子育て応援社会プロジェクト
1 合計特殊出生率	×	●		●		
2 子育てに不安を感じている人の割合	△		●	●	●	●
3 子育てについて気軽に相談できる人がいる割合（市などの相談機関も含む）	×		●	●	●	
4 子育てを負担と感じている人の割合	○	●	●		●	
5 子育てに幸せを感じている人の割合	×		●	●		
6 父親が家事や子育てをしていると思う人の割合	×	●				
7 子育てと仕事が両立できていると思う人の割合（仕事をしていない人を除く）	△	●				
8 保育（小学生の児童クラブを含む）が充実していると思う人の割合	△	●				
9 三条市が子育てしやすいまちであると思う人の割合	×		●			
10 三条市の子どもが生き生きとしていると思う人の割合	×					

(3) 成果指標が達成・未達成となった考えられる要因

達成: 1項目

指標 4 子育てを負担と感じる人の割合

- ・ 保育事業等の充実
- ・ 父親の子育て参加の促進による母親の負担軽減

未達成(改善): 3項目

指標 2 子育てに不安を感じている人の割合

- ・ 保育や母子保健事業等の充実
 - ・ 相談体制の充実、様々な情報発信等
- 不安や悩みは子どもの成長に伴い変化するため、軽減は図ることはできても無くなることはない。

【不安や悩みの細項目で特徴的なもの】

- 経済的な不安や負担は、小学生で大きく減少
38.2%→28.3%
 - * 子ども医療費助成の拡充による影響が大きい
- 「安心して子どもを遊ばせる場所がない」は、就学前児童で大きく減少 31.5%→19.9%
 - * あそぼっての開設による影響が大きい

指標 7 子育てと仕事が両立できていると思う人の割合

- ・ 保育事業等の充実
- ・ 父親の子育て参加の促進による母親の負担軽減
- ・ 働き方改革による職場環境の改善

指標 8 保育(児童クラブ)が充実していると思う人の割合

- ・ 保育所等の整備による受け入れの充実
 - ☞ 年度途中の柔軟な受け入れが困難
(0・1歳等の保育士不足)
- ・ 児童クラブの整備、対象の拡充による受け入れの充実

未達成（悪化）：6項目

指標 3 子育てについて気軽に相談できる人がいる割合

- ・「相談できる人がいる」の詳細は、配偶者・祖父母等の親族や知人・友人等の身近な人が圧倒的に多く、相談機関等は極僅かであることから、核家族化の進行により家族等が少なくなっているため、相談機関等の充実を図っても、この指標の改善は困難と考える。

- ・相談の手法（情報収集方法）の変化

人 → インターネット等

前回低かった
次の事業の
認知度は上昇

- * 子ども・若者総合サポートシステム
- * 子育て支援情報メール

指標 5 子育てに幸せを感じている人の割合

- ・親自身を取り巻く環境の多様化
（女性の就業率増による様々な負担の増加等）
- ・「どちらともいえない」が増加 3.3%→12.1%

指標 6 父親が家事や育児をしていると思う人の割合

- ・父親が子育てに参加していることは認めていても、家事への参加についてはまだまだ不足という感覚と思われる。
- ・父親の家事参加が増えていても、母親が期待する域に達していない。
（期待値自体が上がっている可能性大）

指標 9 子育てしやすいまちであると思う人の割合

- ・他市との比較による影響
（目に付きやすい子ども医療、住宅補助等）
※調査時点では、医療費拡充（中学生全員）の情報は周知前であった。
- ・親自身を取り巻く環境の多様化
（女性の就業率増による様々な負担の増加等）
- ・「どちらともいえない」が増加 21.0%→38.4%

指標 10 子どもが生き生きしていると思う人の割合

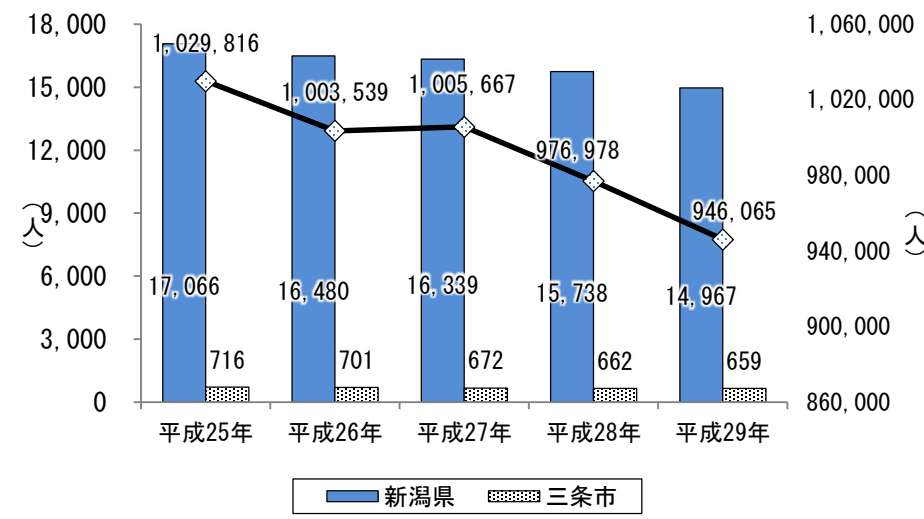
- ・保育所や児童クラブの利用者の増により、地域に子どもの姿が見られなくなった。
- ・外遊び＝生き生きと捉えがちなため、たとえ子ども自身が室内で生き生きとゲームをしていても、生き生きしているとは認識されない。
（環境の変化に親の意識が追いついていない。）
- ・「どちらともいえない」が増加 24.1%→52.7%
（そもそも回答しづらい質問）

※指標1：合計特殊出生率の未達成の要因は多岐にわたると考えられるため省略

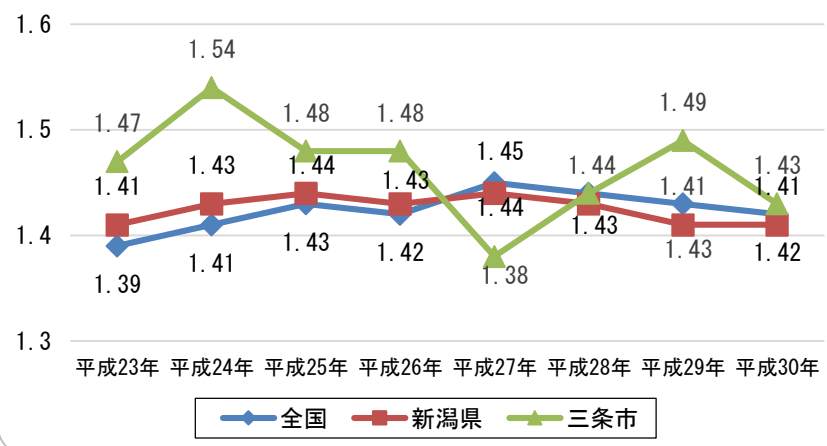
Ⅱ－１ 三条市の現状

（１）主な統計データ

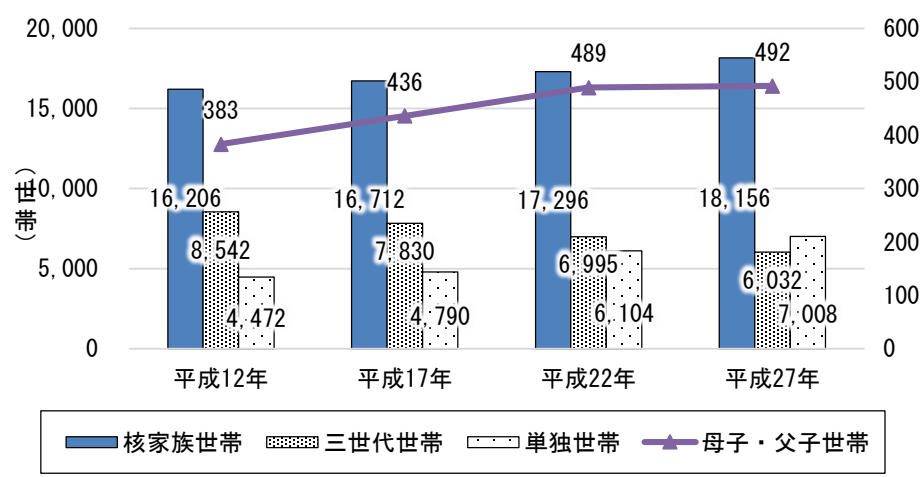
出生数



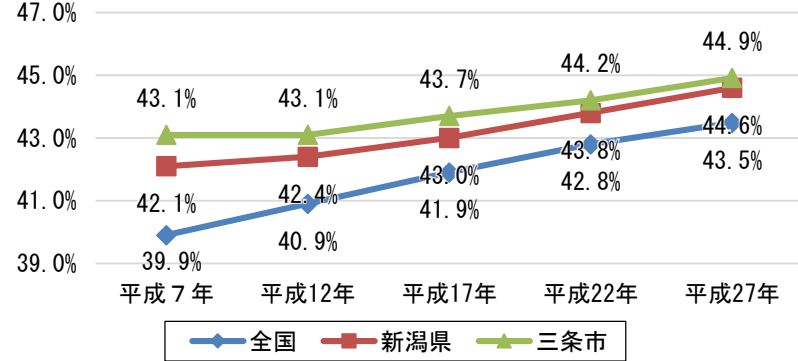
合計特殊出生率



世帯構成



就業者における女性の割合



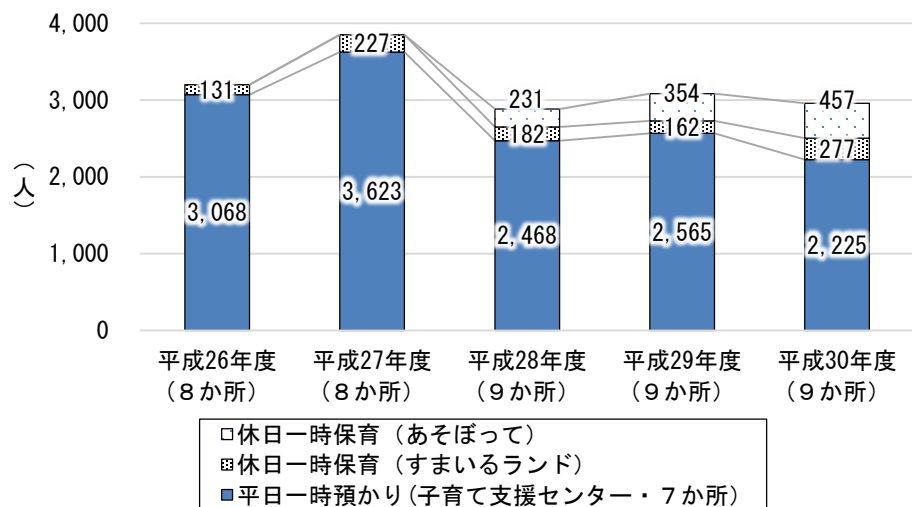
女性の年齢階級別就業者数と就業率の推移

※政府は25～44歳の女性就業率80%を設定

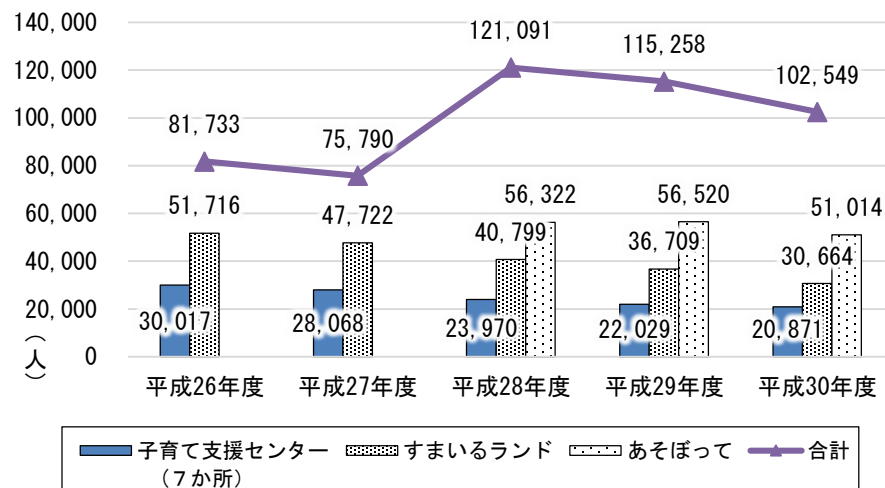
年齢	区分	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年
25～44歳	総数	13,072	12,580	11,827	10,986
	就業者数	9,821	9,468	9,020	8,808
	就業率	75.1%	75.3%	76.3%	80.2%

* 総数には労働力状態不詳を含む

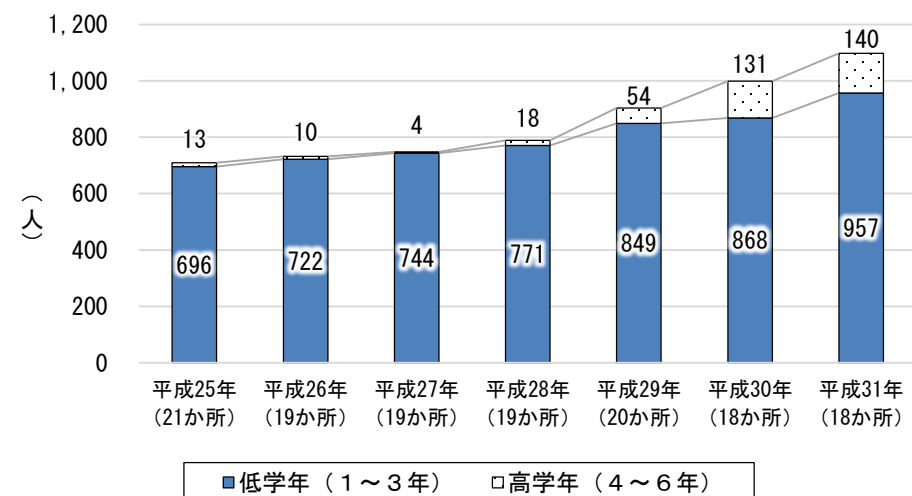
平日一時預かり・休日一時保育利用者数



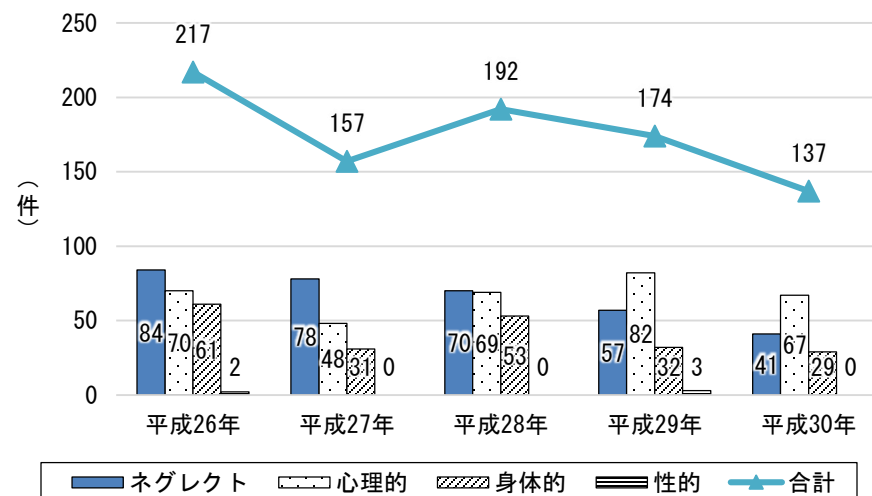
子育て支援センター・子育て拠点施設 (すまいるランド・あそぼって) の利用者数



児童クラブ登録児童数

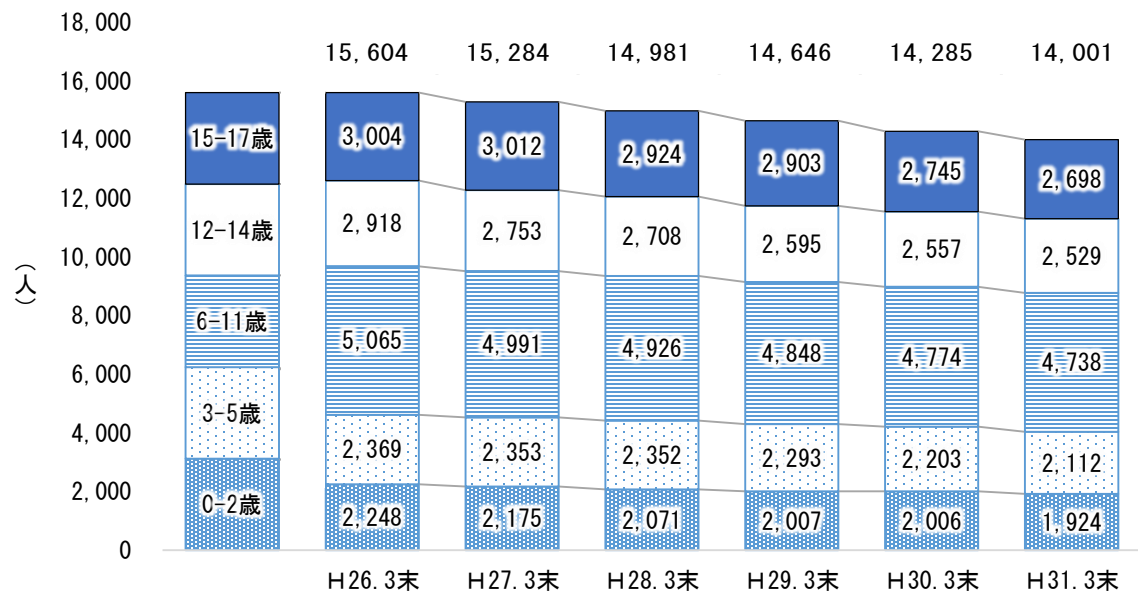


児童虐待の相談件数と内訳



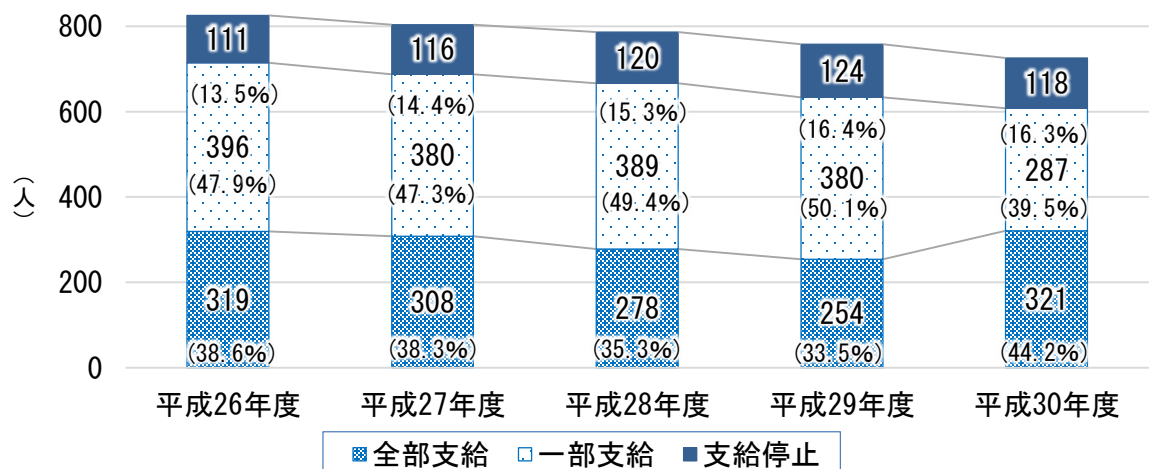
(2) 新規追加する統計データ

子どもの年齢区分別人口



- ・ 子どもの人数を年齢区分毎に細分化したグラフを追加
⇒ 0～2歳（未満児）
3～5歳（以上児）
6～11歳（小学生）
12～14歳（中学生）
15～17歳（高校生）

児童扶養手当受給資格者の推移



- ・ 児童扶養手当（ひとり親家庭等に支給される手当）の受給資格者の推移を追加
○ 所得制限あり
全部支給・一部支給
全部停止（支給なし）

※平成30年度に、法改正により全部支給の所得制限限度額の上限が上がり全部支給対象者が増加した。

(3) 子育てに対する不安等の内容(ニーズ調査結果)

[H30ニーズ調査]

区分	不安等の内容	就学前	順位	小学生	順位	中学生	順位	全体	順位
子ども	子どもの食事や栄養	30.4%	③	15.3%	10	12.5%	7	20.7%	7
子ども	言葉や行動など、知的・精神的な発育	29.4%	④	24.7%	④	18.1%	④	25.2%	3
子ども	子どもの情緒面	28.8%	⑤	26.5%	②	22.2%	②	26.5%	2
自分	しつけがうまくいかない	26.2%	7	19.0%	7	12.8%	6	20.6%	8
自分	子育てで疲れる	28.3%	6	16.3%	9	9.0%	10	19.6%	9
自分	自分の時間をもてない	31.9%	②	16.8%	8	9.3%	9	21.3%	5
自分	子どもとの時間をもてない	20.0%	9	19.6%	6	9.6%	8	17.7%	10
家庭	配偶者との関係(子育てについての意見の不一致等)	13.7%	12	12.9%	11	7.0%	12	12.0%	11
家庭	祖父母との子育て方針の食い違い	9.6%	14	7.8%	13	5.8%	13	8.1%	13
家庭	経済的な不安・負担	34.8%	①	28.3%	①	30.6%	①	31.3%	1
地域	子どもを預かってくれる人がいない	8.7%	15	6.7%	14	1.7%	16	6.5%	15
地域	子育て経験者や先輩保護者と知り合えない	4.1%	16	2.1%	16	2.6%	15	3.0%	16
地域	親自身が友達をつくれる場や機会がない	12.3%	13	5.7%	15	3.5%	14	7.9%	14
地域	周囲の人が子ども連れを温かい目でみてくれない	2.1%	17	1.9%	17	1.5%	17	1.9%	17
環境	子どもが安全に通れる道路がない	14.2%	11	11.1%	12	8.5%	11	11.8%	12
環境	安心して子どもを遊ばせることのできる場所がない	19.9%	10	25.6%	③	14.3%	⑤	21.0%	6
環境	暗い通りや見通しのきかないところが多い	23.5%	8	19.8%	⑤	22.2%	②	21.7%	4

[H25ニーズ調査]

就学前	順位	小学生	順位	中学生	順位	合計	順位
29.3%	7	19.1%	9	9.5%	9	21.0%	8
30.2%	6	24.1%	⑤	16.2%	④	24.7%	4
32.8%	③	29.0%	③	22.5%	②	29.1%	2
28.8%	8	22.4%	6	13.3%	6	22.9%	6
30.6%	⑤	15.7%	11	7.5%	12	19.7%	9
35.9%	②	20.8%	7	10.1%	8	24.4%	5
23.3%	9	20.1%	8	11.3%	7	19.4%	10
13.3%	13	12.4%	12	8.4%	11	11.9%	12
13.2%	14	9.6%	13	5.8%	13	10.1%	13
39.2%	①	38.2%	①	35.3%	①	37.9%	1
13.2%	14	9.4%	14	5.2%	14	9.9%	14
5.5%	16	2.5%	17	1.7%	17	3.5%	16
13.8%	12	8.2%	15	4.3%	15	9.6%	15
2.3%	17	2.6%	16	2.0%	16	2.4%	17
19.8%	11	16.5%	10	9.2%	10	16.2%	11
31.5%	④	32.5%	②	13.9%	⑤	28.0%	3
21.8%	10	24.4%	④	21.4%	③	22.7%	7

※濃い網掛け：対前回比で10%以上増（不安等が増加）

薄い網掛け：対前回比で10%以上減（不安等が減少）

区分⇒子ども：子どものこと、自分：自分のこと、家庭：家庭のこと、

地域：地域のこと、環境：子育て環境のこと

- ・多くの項目で、不安等が減少
- ・就学前で前回4位の「安心して子どもを遊ばせることのできる場所がない」が10位となり、大幅に改善
- ・小学生、中学生では、上位5項目の内容に変化なし

Ⅱ－２ 現状分析のまとめと課題について

(1) 子育てと仕事の両立支援

保育所の整備や母親の育児休業取得などの就労環境の改善もあり、就労している母親が増加しているため、3歳未満児のニーズや就学後の児童の保育等のニーズは高く、安心して子育てや仕事ができるよう、引き続き子育て支援環境の充実を図る必要がある。

また、男性の子育て参加は進んできているが、さらに家事や育児を男女が協力して行う機運を醸成していく必要がある。

(2) 子育てを楽しめる環境づくり

核家族化の進行により身近な相談相手が減少している。また、車社会の進展により身近で安全に遊べる場も減少している。安心して楽しく子育てができるよう、相談しやすい体制の充実が必要である。また、親子で遊べる場とともに子どもが思いっきり遊べる場の充実が必要である。

(3) すべての子ども・若者の健やかな成長への支援

子ども・若者を取り巻く社会環境が大きく変化する中で、子ども・若者がこれからの社会を、自分らしく力強く生き抜いていくため、関係機関が連携を図りながら、乳幼児から若者までのそれぞれの時期において健やかに成長できるよう、母子保健から青少年の健全育成までの取組を更に充実していく必要がある。

その際に、子ども・若者を育成や支援の「対象」としてだけでなく、社会を構成する重要な「主体」として、地域の中で確実に成長していけるよう家庭とともに育んでいく必要がある。

(4) 困難を有する子ども・若者と家族への支援

様々な困難を有する子ども・若者に対して関係機関が連携して、個に応じた支援を継続的かつ総合的に行う「子ども・若者総合サポートシステム」を推進し支援を行ってきた。

いじめ、不登校、問題行動、被虐待及び発達障がい等、引き続ききめ細かな支援を行うとともに、成長に伴う関係機関等のつなぎを確実にやっていく必要がある。

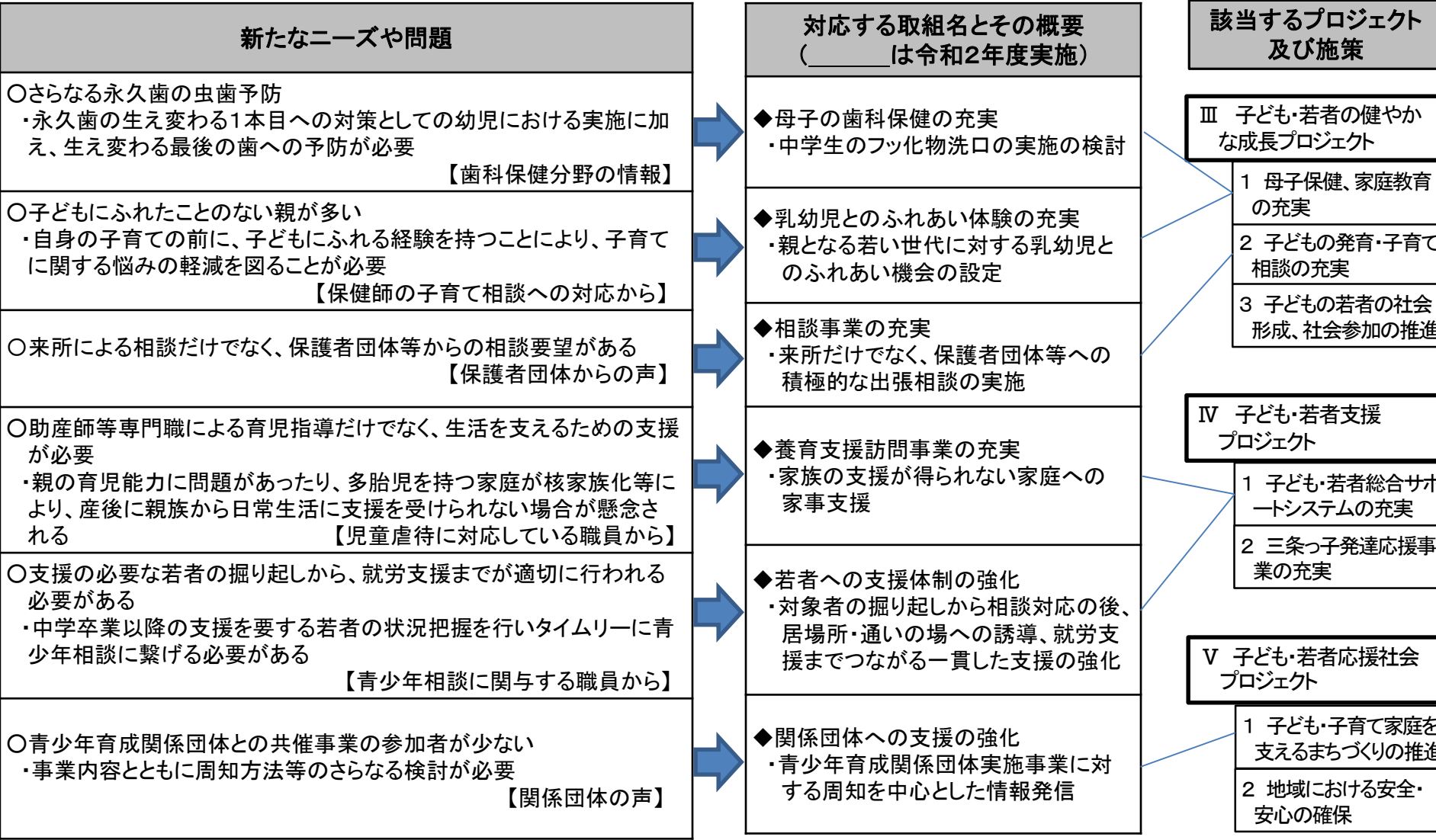
(5) 子ども・若者・子育て家庭をみんなで支える社会づくり

核家族化や少子化の進行、生活様式の多様化による地域の人間関係の希薄化等により、地域における子ども・若者を温かく見守る力が次第に弱まり、子育て家庭の孤立化等により、児童虐待の増加など、子ども・若者が心身ともに健やかに育つ環境が失われつつある。

次代を担う子ども・若者が健やかに成長することができる活力ある地域社会を実現させるため、社会全体で子ども・若者・子育て家庭を応援する機運を更に醸成していく必要がある。

Ⅱ－３ 新たに捉えたニーズや問題に対する必要な取組

新たなニーズや問題	対応する取組名とその概要 (____は令和2年度実施予定)	該当するプロジェクト 及び施策
○未満児の入所調整における保護者の意向(年間の概数) ・早期職場復帰のために市内であればどこでもよい5人 ・希望(主に地元)の保育所に空きがなく育休延長50人 【入所調整時に職員が把握】	◆3歳未満児の保育の拡充 ・施設の移転改築、幼稚園等の認定こども園化	Ⅰ 子育てと仕事の両立プロジェクト 1 多様なニーズに対応した保育環境等の充実 2 子どもの放課後等の居場所の確保 3 男性の家事、子育て参加の促進 4 出産のために退職した女性等の再就職支援
○保育士不足による未満児の入所待機が発生している ・年度初めの前倒し雇用が困難なことに加え、通常の保育士確保が難しいため柔軟な雇用の仕方が必要 ・保育士養成校に三条市出身の子が少ない 【人事課職員の活動から】	◆保育士確保の推進 ・柔軟な雇用条件の設定 ・中高生への保育士職への就業の啓発	
○病児や病後児保育の利用しやすい体制 ・パート等の親は利用時間が短いため、利用しやすいよう、半日の利用料金を設定してほしい 【利用者の意見、子ども未来委員会での委員発言】	◆病児・病後児保育の充実 ・半日利用料金の設定の検討	
○利用しやすい一時預かりや支援センターの体制 ・日常的に利用する支援センターの身近な場所として大崎地区への設置が必要 ・一時預かりは1歳未満児も受け入れてほしい 【利用状況、問合せ時の声を職員が把握】	◆一時預かりの拡充 ◆子育て支援センターの拡充 ・大崎地区への子育て支援センターの設置、 ・1歳未満児の一時預かり受入れの検討	
○安全に過ごせる児童クラブ ・つくし児童クラブを実施している月岡分館の老朽化、学校から離れている 【利用児童の保護者、クラブ職員、学校】	◆児童クラブの充実 ・つくし(月岡小学校)、月岡(月岡分館内)児童クラブ統合及び施設の新設	Ⅱ ハッピー子育てプロジェクト 1 親子が集える場づくり 2 親子で楽しめる公園の整備 3 子育て家庭へのサポートの充実
○男女の子育て・家事に関する意識に格差がある ・多くの人へのアプローチが必要 【ニーズ調査、事業実施から】	◆子育て世代に対する意識啓発の推進 ・チェックシートによる家事、育児の意識啓発	
○対象者に対して、適切な情報を届ける必要がある ・対象者と企業のマッチングが必要 【関係スタッフ・職員から】	◆再就職マッチング事業 ・三条おしごとナビで子育てに優しい企業特集、企業見学バスツアー等を実施	
○小学生が屋内で思いっきり遊べる施設が欲しい (幼児期は充実) 【ニーズ調査、市長へのたより】	◆屋内で思い切り遊べる施設設置の検討 ・季節、天候を問わず屋内で思い切り遊べる施設の検討	
○子どもの育ちサポートセンターの現体制が、13事業のうちの母子保健型の利用者支援事業とすることが可能 【担当職員から】	◆利用者支援事業(母子保健型)の実施 ・子育て世代包括支援センターの設置	



Ⅱ－４ 子ども・子育て支援法に基づく教育・保育以外の13事業について

No.	事業名		第 1 期の実施状況	第 2 期
1	利用者支援事業		未実施（基本型）	実施（母子保健型）
2	一時預かり事業	一般型	実 施	継続実施
		幼稚園型	未実施	実施しない
3	放課後児童健全育成事業（児童クラブ）		実 施	継続実施
4	地域子育て支援拠点事業			
5	妊婦健康診査			
6	乳児家庭全戸訪問事業（こんにちは赤ちゃん訪問事業）			
7	養育支援訪問事業			
8	子育て短期支援事業		未実施	実施しない
9	子育て援助活動支援事業（ファミリー・サポート・センター事業）		未実施	実施しない
10	延長保育事業		実 施	継続実施
11	病児病後児保育事業			
12	実費徴収に係る補足給付を行う事業			
13	多様な事業者の参入促進・能力活用事業		必要に応じて実施	必要に応じて実施



第 2 期すまいる子ども・若者プランにおける13事業については、第 1 期に実施した 9 事業は全て継続実施とする。（一時預かり事業：基本型含む）
未実施の 3 事業のうち、利用者支援事業については、第 1 期で予定した基本型は実施せず、途中で新設された母子保健型を実施する。
他の 2 事業は、第 2 期においても実施しない。

【実施する事業（継続を除く）】

No. 1 利用者支援事業

〔基本型〕

保護者等が、教育・保育施設や地域の子育て支援事業等を円滑に利用できるよう、身近な場所において、当事者目線の寄り添い型の支援を実施（専任職員 1 人以上の配置が必須）

⇒ 実施しない 〔子育て支援センター等において同様の対応を行っているため〕

〔母子保健型〕

保健師等が専門的な見地から相談支援等を実施し、妊娠期から子育て期にわたるまでの切れ目ない支援体制を構築

⇒ 実施する 〔子育て世代包括支援センター（子どもの育ちサポートセンター）と同内容〕

【実施しない事業】

No. 9 子育て援助活動支援事業（ファミリー・サポート・センター事業）

乳幼児や小学生等の児童を有する子育て中の労働者や主婦等を会員として、児童の預かりの援助を受けたい者と当該援助を行いたい者との相互援助活動に関する連絡、調整を行うことにより、地域における育児の相互援助活動を推進するとともに、病児・病後児の預かり、早朝・夜間等の緊急時の預かりや、ひとり親家庭等の支援など多様なニーズへの対応を図る。

⇒ 実施しない 〔・民間 3 団体において類似事業を実施）
・他市：提供会員の減少、高齢化による送迎ニーズへの対応苦慮〕

※従来どおり、従事者の養成・スキルアップのための講座実施による支援

【参考】

No.13 多様な事業者の参入促進・能力活用事業

多様な事業者の新規参入を支援するほか、私立認定こども園における特別な支援が必要な子どもの受入体制を構築することで、良質かつ適切な教育・保育等の提供体制の確保を図る。

No. 8 子育て短期支援事業

家庭において児童を養育することが一時的に困難となった場合及び経済的な理由により緊急一時的に母子を保護することが必要な場合等に、児童養護施設その他の保護を適切に行うことができる施設において一定期間、養育・保護を行う。

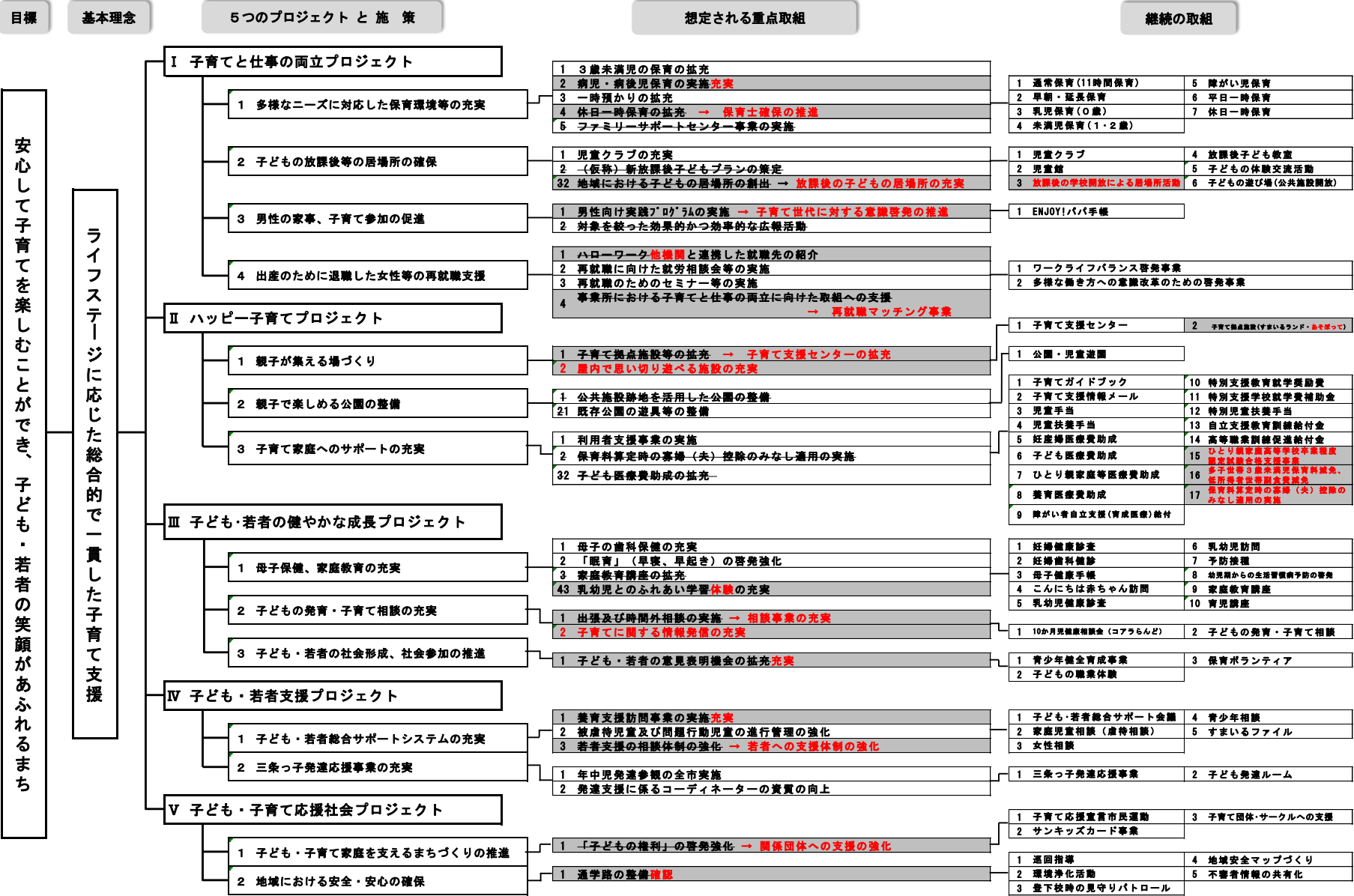
- ・短期入所生活援助（ショートステイ）事業
- ・夜間養護等（トワイライトステイ）事業

⇒ 実施しない

〔不適切な養育（虐待）による場合に限らず、一時的に養育に欠ける場合であっても、児童相談所により一時保護や里親委託が行われているため〕

Ⅲ-1 第2期プラン 計画の体系について

※ 網掛け部分は新たな項目



Ⅲ-2 5つのプロジェクトと各施策及び重点取組について

I 子育てと仕事の両立プロジェクト

施策 1 多様なニーズに対応した保育環境等の充実

【重点取組】

No.	取組名	取組の概要
1	3歳未満児の保育の拡充	3歳未満児の保育ニーズに対応するため、認定こども園、保育園等の施設整備の実施により、 3歳未満児の保育の拡充 を図る。
2	病児・病後児保育の充実	病気や病後の子どもを、保護者が家庭で保育できない場合に、 預けやすいように事業の充実 を図る。 ... 半日利用料金の設定検討
3	一時預かりの拡充	旧大崎中跡地への私立保育園の移転改築に合わせ、 子育て支援センターを設置 し、大崎地区における一時預かりを実施する。 ... 大崎地区への子育て支援センターの設置、1歳未満児の一時預かり受入の検討
4	保育士確保の推進	保育士不足による年度途中入所が困難な状況が続いていることから、 保育士の確保策をさらに推進 する。 ... 柔軟な雇用条件の設定、中高生への保育士職就業の啓発

【継続の取組】

No.	取組名
1	通常保育(11時間保育)
2	早朝・延長保育
3	乳児保育(0歳)
4	未満児保育(1・2歳)
5	障がい児保育
6	平日一時預かり
7	休日一時保育
8	ファミリーサポート支援事業

施策 2 子どもの放課後等の居場所の確保

【重点取組】

No.	取組名	取組の概要
1	児童クラブの充実	子どもが安全に安心して過ごすことができるよう、 老朽化した施設での実施について見直し を行う。 ... つくし、月岡児童クラブ
2	放課後の子どもの居場所の充実	子どもの放課後の過ごし方について、 学校や地域などの多様な居場所の充実 を図る。

【継続の取組】

No.	取組名
1	児童クラブ
2	児童館
3	放課後の学校開放による居場所活動
4	放課後子ども教室
5	子どもの体験交流活動
6	子どもの遊び場(公共施設開放)

施策 3 男性の家事、子育て参加の促進

【重点取組】

No.	取組名	取組の概要
1	子育て世代に対する意識啓発の推進	婚姻等を契機に男女の区別のない家事・育児の関わり方について、働く男女間の相互理解を促す<u>チェックシートを婚姻届出時に配布し</u>、待ち時間にチェックしてもらう。 … チェックシートによる家事、育児の意識啓発

【継続の取組】

No.	取組名
1	ENJOY！パパ手帳

施策 4 出産のために退職した女性等の再就職支援

【重点取組】

No.	取組名	取組の概要
1	他機関と連携した就職先の紹介	ハローワーク等と連携し、 女性を対象とした就職先の紹介 を行う。
2	再就職に向けた就職相談会等の実施	子育て中の女性を対象にした 就職に関する相談会等を実施 する。
3	再就職のためのセミナー等の実施	関係機関と連携した 女性向けの再就職セミナー等 を実施する。
4	再就職マッチング事業	子育て中の女性の雇用に関する企業向けセミナーを実施し、 三条おしごとナビで子育てに優しい職場の特集、企業見学バスツアー等を実施 する。

【継続の取組】

No.	取組名
1	ワークライフバランス啓発事業
2	多様な働き方への意識改革のための啓発事業

Ⅱ ハッピー子育てプロジェクト

施策 1 親子が集える場づくり

【重点取組】

No.	取組名	取組の概要
1	子育て支援センターの拡充	旧大崎中跡地への私立保育園の移転改築に合わせ、 <u>子育て支援センターを設置し</u> 、大崎地区における親子の集いの場、子育て相談や情報発信などの機能を付与する。 … <u>大崎地区への子育て支援センターの設置</u>
2	屋内で思い切り遊べる施設の充実	主に小学生を中心に、季節や天候に左右されず、 <u>屋内で思い切り遊ぶことができる施設の設置について検討を進める</u> 。(旧図書館の活用を踏まえた検討)

【継続の取組】

No.	取組名
1	子育て支援センター
2	子育て拠点施設(すまいるランド、あそぼって)

施策 2 親子で楽しめる公園の整備

【重点取組】

No.	取組名	取組の概要
1	既存公園の遊具等の整備	遊具の点検を毎年実施し必要な修繕を行いつつ、大規模修繕や入替が必要な場合には、 <u>利用者の目線に立ちながら管理コストも含めたあるべき姿</u> を検討し、必要な整備を行う。

【継続の取組】

No.	取組名
1	公園・児童遊園

施策 3 子育て家庭へのサポートの充実

【重点取組】

No.	取組名	取組の概要
1	利用者支援事業の実施	従来からある一般型は不要であるが、母子保健型としての <u>子育て世代包括支援センター</u> を子育て支援課に設置する。

【継続の取組】

No.	取組名
1	子育てガイドブック
2	子育て支援情報メール
3	児童手当
4	児童扶養手当
5	妊産婦医療費助成
6	子ども医療費助成
7	ひとり親家庭等医療費助成
8	養育医療費助成
9	障がい者自立支援(育成医療給付)
10	特別支援教育就学奨励費
11	特別支援学校就学費補助金
12	特別児童扶養手当
13	自立支援教育訓練給付金
14	高等職業訓練促進給付金
15	ひとり親家庭高等学校卒業程度認定試験合格支援事業
16	多子世帯3歳未満児保育料減免、低所得者世帯副食費減免
17	保育料算定時の寡婦(夫)控除のみなし適用の実施

Ⅲ 子ども若者の健やかな成長プロジェクト

施策 1 母子保健、家庭教育の充実

【重点取組】

No.	取組名	取組の概要
1	母子の歯科保健の充実	う蝕予防を継続的に実施することにより、母子の歯科保健の充実を図るため、更なる フッ化物洗口の実施 を検討する。 … 中学生のフッ化物洗口の実施の検討
2	「眠育」(早寝、早起き)の啓発強化	幼児期から十分な睡眠をとり、正しい生活リズムを身につける「眠育」(早寝、早起き)を推進するため、 モデル地区の拡充 を進める。
3	乳幼児とのふれあい体験の充実	子どもとの接点が少ないこれから親となる若い世代に対し、家庭教育講座等を活用し乳幼児とふれあう機会を設け、 子育てについて学習する機会の充実 を図る。 … 家庭教育講座活用 の検討

【継続の取組】

No.	取組名
1	妊婦健康診査
2	妊婦歯科健診
3	母子健康手帳
4	こんにちは赤ちゃん訪問
5	乳幼児健康診査
6	乳幼児訪問
7	予防接種
8	幼児期からの生活習慣病予防の啓発
9	家庭教育講座
10	育児講座

施策 2 子どもの発育・子育て相談の充実

【重点取組】

No.	取組名	取組の概要
1	相談事業の充実	子育ての悩みに柔軟に対応するため、来所による相談に加え、保護者団体等への 積極的な出張相談 を行う。
2	子育てに関する情報発信の充実	ホームページや子育て支援情報メール等を活用し、より 効果的な情報発信 を進める。

【継続の取組】

No.	取組名
1	10か月児健康相談会(コアラらんど)
2	子どもの発育・子育て相談

施策 3 子ども・若者の社会形成、社会参加の推進

【重点取組】

No.	取組名	取組の概要
1	子ども・若者の意見表明機会の充実	子ども・若者の社会参加意識を高めるため、 学生や若者が積極的に意見表明できる機会の充実 を図る。

【継続の取組】

No.	取組名
1	青少年健全育成事業
2	子どもの職業体験
3	保育ボランティア

Ⅳ 子ども・若者支援プロジェクト

施策 1 子ども・若者総合サポートシステムの充実

【重点取組】

No.	取組名	取組の概要
1	養育支援訪問事業の充実	妊娠、出産、育児期に養育支援を必要とする家庭に、助産師が訪問し、 きめ細かな相談や支援を実施 する。また、 必要に応じて家族の支援が得られない場合(多子出産など)における家事支援も実施 する。
2	被虐待児童及び問題行動児童の進行管理の強化	被虐待や問題行動等、特別な支援が必要な子どもの 早期の発見・対応ときめ細かな支援を継続的 に実施する。
3	若者への支援体制の強化	対象者の掘り起しから相談対応の後、居場所や通いの場への誘導と、学習、就労支援までつながる 若者への一貫した支援の強化 を図る。

【継続の取組】

No.	取組名
1	子ども・若者総合サポート会議
2	家庭児童相談(虐待相談)
3	女性相談
4	青少年相談
5	すまいるファイル

施策 2 三条っ子発達応援事業の充実

【重点取組】

No.	取組名	取組の概要
1	年中児発達参観の全市実施	子どもの育ちや個性に早期に気づくための「年中児発達参観」を 全ての保育所・幼稚園等を対象に実施 する。
2	発達支援に係るコーディネーターの資質の向上	各保育所・幼稚園等における「発達支援コーディネーター」の 資質向上を図り 、引き続き子ども一人一人の育ちや個性を把握し、 適切な指導を実施できる体制を堅持 する。

【継続の取組】

No.	取組名
1	三条っ子発達応援事業
2	子ども発達ルーム

V 子ども・子育て応援社会プロジェクト

施策 1 子ども・子育て家庭を支えるまちづくりの推進

【重点取組】

No.	取組名	取組の概要
1	関係団体への支援の強化	青少年育成関係団体(青少年育成市民会議、青少年指導委員会、子ども会連合会)の事務局業務を継続するとともに、 <u>実施事業に対する周知を中心とした情報発信</u> に努める。

【継続の取組】

No.	取組名
1	子育て応援宣言市民運動
2	サンキッズカード事業
3	子育て団体・サークルへの支援

施策 2 地域における安全・安心の確保

【重点取組】

No.	取組名	取組の概要
1	通学路の確認	通学路安全推進会議等において、小中学校の通学路の安全点検を行うとともに、安全対策について協議し、 <u>ソフト、ハード両面で危険箇所の改善策</u> を講ずる。

【継続の取組】

No.	取組名
1	巡回指導
2	環境浄化活動
3	登下校時の見守りパトロール
4	地域安全マップづくり
5	不審者情報の共有

Ⅲ－３ 成果指標の設定について

- 項目⇒1項目削除し、9項目とする。ただし、成果指標3については「相談先に対する認知度」に変更（子育て相談事業の認知度が70%台であることから目標値を「90%」に設定）
- 目標値⇒第1期の数値を踏襲する。
- 調査内容等の見直し⇒成果指標6については父親・母親両方に聞く、その他設問の回答方法を揃える等

【第1期】

成果指標	第1期 目標値	H30 調査結果
1 合計特殊出生率	1.58	1.43
2 子育てに不安を感じている人の割合	50%	64.4%
3 子育てについて気軽に相談できる人がいる割合（市などの相談機関も含む）	95%	85.4%
4 子育てを負担と感じている人の割合	25%	21.2%
5 子育てに幸せを感じている人の割合	99%	83.8%
6 父親が家事や子育てをしていると思う人の割合	90%	64.8%
7 子育てと仕事が両立できていると思う人の割合（仕事をしていない人を除く）	80%	74.6%
8 保育（小学生の児童クラブを含む）が充実していると思う人の割合	70%	33.4%
9 三条市が子育てしやすいまちであると思う人の割合	70%	24.7%
10 三条市の子どもが生き生きとしていると思う人の割合	80%	34.3%

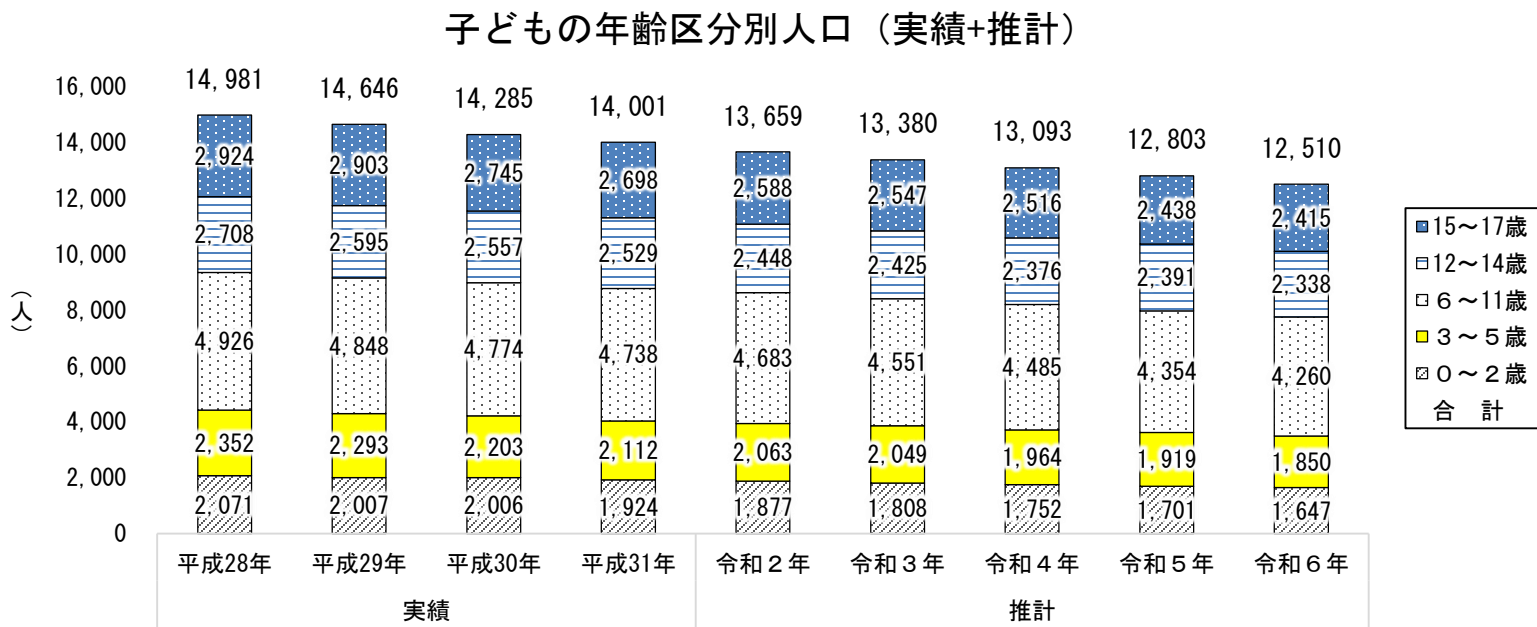
※変更部分に網掛け

【第2期】

成果指標	第2期 目標値
1 合計特殊出生率	1.58
2 子育てに不安を感じている人の割合	50%
3 子育てについての相談先（相談機関やサービス等）を知っている割合	90%
4 子育てを負担と感じている人の割合	25%
5 子育てに幸せを感じている人の割合	99%
6 父親が家事や子育てをしていると思う人の割合	90%
7 子育てと仕事が両立できていると思う人の割合（仕事をしていない人を除く）	80%
8 保育（小学生の児童クラブを含む）が充実していると思う人の割合	70%
9 三条市が子育てしやすいまちであると思う人の割合	70%

項目削除 ※自分の子ども以外についての設問であり、回答が難しいため

Ⅲ-4 子どもの人口の推計



子どもの年齢区分別人口（実績+推計） (人)

年齢区分	実績				推計				
	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
0～2歳	2,071	2,007	2,006	1,924	1,877	1,808	1,752	1,701	1,647
3～5歳	2,352	2,293	2,203	2,112	2,063	2,049	1,964	1,919	1,850
6～11歳	4,926	4,848	4,774	4,738	4,683	4,551	4,485	4,354	4,260
12～14歳	2,708	2,595	2,557	2,529	2,448	2,425	2,376	2,391	2,338
15～17歳	2,924	2,903	2,745	2,698	2,588	2,547	2,516	2,438	2,415
合計	14,981	14,646	14,285	14,001	13,659	13,380	13,093	12,803	12,510

※住民基本台帳（各年3月末日現在）をもとに、コーホート変化率法を用いた推計

Ⅲー5 子ども・子育て支援法に基づく各事業の量の見込み等について

量を見込むに当たりニーズ調査を行ったが、実績値と乖離の大きいものについては実績値をもとに試算した。

○教育・保育事業について

量の見込みの算出の考え方

・年齢区分毎に令和元年度の1号～3号の入園・入所率を出し、推計児童人口にその割合を乗じて入園・入所児童数の見込みを算出した。※確保方策における量は定員とする。

[第1期]

		平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度
計画	量の見込み 合計	3,411人	3,384人	3,383人	3,377人	3,359人
	1号認定	146人	145人	144人	144人	143人
	2号	219人	217人	217人	216人	214人
	認定 上記以外	1,985人	1,963人	1,957人	1,948人	1,929人
	3号	155人	157人	160人	163人	165人
	認定 1・2歳児	906人	902人	905人	906人	908人
	確保方策 合計	3,960人	3,930人	3,980人	3,900人	3,900人
	幼稚園	875人	755人	755人	655人	655人
	認定こども園	130人	130人	130人	130人	130人
	保育所	2,955人	2,995人	3,045人	3,065人	3,065人
	地域型保育事業	—	50人	50人	50人	50人
実績	確保量 合計	4,000人	3,895人	3,729人	3,901人	3,881人
	幼稚園	875人	755人	533人	575人	575人
	認定こども園	130人	130人	130人	250人	250人
	保育所	2,995人	2,980人	3,030人	3,040人	3,020人
	地域型保育事業	0人	30人	36人	36人	36人
	利用実績 合計	3,466人	3,458人	3,355人	3,328人	3,189人
	1号認定	371人	354人	317人	290人	232人
	2号	28人	30人	47人	60人	81人
	認定 保育所（園）	1,952人	1,966人	1,894人	1,833人	1,769人
	3号	204人	211人	209人	212人	190人
	認定 1・2歳児	911人	897人	888人	933人	917人

[第2期]

		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度
量の見込み 合計	1号認定	233人	227人	222人	217人	210人
	2号	1,815人	1,803人	1,730人	1,690人	1,625人
	認定					
	3号	190人	190人	190人	190人	190人
	認定					
	1・2歳児	932人	912人	903人	893人	888人
確保方策 合計		3,526人	3,536人	3,530人	3,530人	3,530人
幼稚園		195人	150人	150人	150人	150人
認定こども園		275人	330人	330人	330人	330人
保育所		3,020人	3,020人	3,020人	3,020人	3,020人
地域型保育事業		36人	36人	30人	30人	30人

※確保方策の幼稚園分は、現に運用している利用定員とした。
※確保方策の認定こども園分は、幼稚園等の認定こども園化を反映した。

[算出の考え方] 下表の入所率を推計人口に乘じ入所児童見込みを算出

区分		現入所率	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度
保育 3号	0歳児	30%	32%	33%	34%	35%	36%
	1歳児	66%	70%	72%	74%	76%	78%
	2歳児	73%	75%	76%	77%	78%	79%
保育 2号	3歳児	88%	88%	88%	88%	88%	88%
	4歳児	85%	88%	88%	88%	88%	88%
	5歳児	87%	88%	88%	88%	88%	88%

参考：学園別年齢区分別資料

[保育]

【0歳児の量の見込み】 ※確保量はR2年度の3号認定
（保育0歳児）の定員枠とする

区分		三条 嵐南	一ノ 木戸	三条	四つ 葉	瑞穂	おお じま	大崎	さか え	した だ	計
確保量		48	26	16	27	16	6	35	19	17	210
量 の 見 込 み	R2	49	28	18	19	8	5	32	14	17	190
	R3	49	28	18	19	8	5	32	14	17	190
	R4	49	28	18	19	8	5	32	14	17	190
	R5	49	28	18	19	8	5	32	14	17	190
	R6	49	28	18	19	8	5	32	14	17	190

【3歳以上児の量の見込み】 ※確保量はR2年度の2号認定
（保育3歳以上児）の定員枠とする

区分		三条 嵐南	一ノ 木戸	三条	四つ 葉	瑞穂	おお じま	大崎	さか え	した だ	計
確保量		383	209	198	315	203	90	228	217	199	2,042
量 の 見 込 み	R2	366	217	172	211	199	60	223	194	173	1,815
	R3	364	215	171	209	198	59	222	191	174	1,803
	R4	348	208	164	201	190	57	212	184	166	1,730
	R5	340	202	161	197	185	56	208	180	161	1,690
	R6	328	193	154	189	178	53	200	173	157	1,625

【1・2歳児の量の見込み】 ※確保量はR2年度の3号認定
（保育1、2歳児）の定員枠とする

区分		三条 嵐南	一ノ 木戸	三条	四つ 葉	瑞穂	おお じま	大崎	さか え	した だ	計
確保量		179	101	101	118	96	34	127	84	94	934
量 の 見 込 み	R2	209	111	91	109	83	31	134	89	75	932
	R3	204	109	89	107	81	31	131	87	73	912
	R4	202	108	88	106	80	30	130	86	73	903
	R5	200	107	87	105	79	30	128	85	72	893
	R6	199	106	87	104	79	30	127	84	72	888

[教育]

【3歳以上児の量の見込み】 ※確保量はR2年度の1号認定の定員枠とする

区分		三条嵐南一ノ木戸	三条	四つ葉	瑞穂	おおじま	大崎	さかえ	ただ	計
確保量		150	120		55		15			340
量 の 見 込 み	R2	95	88		36		14			233
	R3	94	86		32		15			227
	R4	92	85		31		14			222
	R5	89	82		33		13			217
	R6	87	79		32		12			210

[算出の考え方] 下表の入園率を推計人口に乘じ入園児童見込みを算出

区分		現 入園率	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度
教育 (1号)	3歳児	12%	12%	12%	12%	12%	12%
	4歳児	11%	11%	11%	11%	11%	11%
	5歳児	11%	11%	11%	11%	11%	11%

○教育・保育以外の13事業について

(1) 利用者支援事業

- ①基本型
子育て中の親子や妊婦等が、教育・保育施設や地域の子育て支援事業を円滑に利用できるよう、身近な場所で当事者目線の寄り添い型の支援を実施する事業
- ②母子保健型（子育て世代包括支援センター）
妊娠期から子育て期にわたるまでの母子保健や育児に関する様々な悩み等に円滑に対応するため、保健師等が専門的な見地から相談支援等を実施し、妊娠期から子育て期にわたるまでの切れ目ない支援体制を構築する事業

[第1期]

≪ 市全域 ≫

	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度
量の 見込み	2 か所	2 か所	2 か所	2 か所	2 か所
確保 方策	0 か所	2 か所	2 か所	2 か所	2 か所
実績	0 か所	0 か所	0 か所	0 か所	0 か所

第1期では、専任の職員を配置してアドバイス等を行う「基本型」を、子育て拠点施設2か所を想定し実施することとしていたが、既存の相談体制で対応できるため実施しないこととした。

[第2期]

≪ 市全域 ≫

		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度
量の 見込み	基本型	0 か所	0 か所	0 か所	0 か所	0 か所
	母子保健型	1 か所	1 か所	1 か所	1 か所	1 か所
確保 方策	基本型	0 か所	0 か所	0 か所	0 か所	0 か所
	母子保健型	1 か所	1 か所	1 か所	1 か所	1 か所

- ①基本型
実施しない
- ②母子保健型（子育て世代包括支援センター）
実施する

第2期では、子どもの育ちサポートセンターにおいて「母子保健型」を実施することとする。（子どもの育ちサポートセンターの現体制で必要な人への支援プラン（本人の同意必要）策定により、母子保健型となるもの）

(2) 一時預かり事業

家庭において保育を受けることが一時的に困難となった乳幼児について、主として昼間において、保育所、幼稚園、認定こども園その他の場所において一時的に預かり、必要な保護を行う事業

※調査結果を基にした推計と利用実績との乖離が大きいため、利用実績から算出

[第1期]

[子育て支援センター] ≪ 市全域 ≫

	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度
量の見込み (1日当たり)	49人	49人	49人	49人	49人
確保方策 (1日当たり)	49人	49人	49人	49人	49人
	7か所	7か所	7か所	7か所	7か所
実績 (1日当たり)	15人	10人	11人	9人	10人
実績 (延べ人数)	3,623人	2,468人	2,565人	2,225人	2,393人

※確保方策：1施設1日7人

※H31は見込

[幼稚園] ≪ 市全域 ≫

	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度
量の見込み (1日当たり)	219人	217人	217人	216人	214人
確保方策 (1日当たり)	219人	217人	217人	216人	214人
	6か所	5か所	5か所	4か所	4か所
実績					

※幼稚園における在園児を対象とした一時預かり（幼稚園での預かり保育事業）

⇒私学助成を利用した従来の預かり保育を継続するため実施なし

[第2期]

[子育て支援センター] ≪ 市全域 ≫

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度
量の見込み	2,316人	2,220人	2,154人	2,088人	2,028人
確保方策	6,804人	7,290人	7,776人	7,776人	7,776人
	7か所	8か所	8か所	8か所	8か所

※確保方策：1施設1日4人→4人×7施設×243日=6,804人

※令和3年度途中に1施設開設予定（市民の利便性の向上）

（令和3年度は半年分→4人×243日÷2=486人）

令和4年度以降は4人×8施設×243日=7,776人

※第1期の1日7人は、午前午後それぞれ3、4人程度で計7人としたものであり、第2期は4人とした。

【積算根拠】 ※在宅児童割合 30%（入所率70%）

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度
1・2歳 推計児童数	1,286人	1,232人	1,197人	1,161人	1,125人
うち 在宅児童数	386人	370人	359人	348人	338人
平均利用回数	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0
延べ利用者数	2,316人	2,220人	2,154人	2,088人	2,028人

※平均利用回数はH28～H30実績の平均値

(3) 放課後児童健全育成事業（児童クラブ）

保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校に就学している児童に対し、授業の終了後に小学校の余裕教室、児童館等を利用して適切な遊び及び生活の場を与え、その健全な育成を図る事業
※調査結果を基にした推計と利用実績との乖離が大きい（主に高学年）、利用実績から算出

[第1期]

※実績：5月1日現在
※H29～上限を3年生までから4年生までに拡充
《三条小学校（三条児童クラブ）》

		平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度
計画	量の見込み①	0人	1人	1人	1人	2人
	確保方策②	38人	38人	38人	38人	38人
	②－①	38人	37人	37人	37人	36人
実績	確保量②'	38人	38人	廃止	廃止	廃止
	利用実績①'	2人	2人	廃止	廃止	廃止
	②'－①'	36人	36人	廃止	廃止	廃止

《一ノ木戸小学校
（一ノ木戸・ポプラ児童クラブ）》

H29～一ノ木戸2クラス

		平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度
計画	量の見込み①	100人	96人	103人	107人	116人
	確保方策②	118人	118人	118人	118人	118人
	②－①	18人	22人	15人	11人	2人
実績	確保量②'	118人	118人	118人	118人	118人
	利用実績①'	94人	97人	122人	110人	126人
	1年生	41人	41人	43人	31人	48人
	2年生	19人	41人	37人	38人	33人
	3年生	34人	14人	34人	26人	33人
	4年生	0人	1人	5人	12人	10人
	5年生	0人	0人	3人	1人	2人
	6年生	0人	0人	0人	2人	0人
	②'－①'	24人	21人	-4人	8人	-8人

[第2期]

【量の見込み】
児童クラブは、H31年度の学校・学年別利用率を、R2年度以降の児童数見込みに乗じて量の見込みを算出
※ただし見込量は登録者数であり、利用率は8割程度となるため、不足は生じない。
補助金申請も8割の人数で申請となる。

【確保方策】
児童クラブ占有（クラブ室）面積＋共有部分の面積を条例の基準面積1.65㎡/人で算出した数を定員とした。

《一ノ木戸小学校（一ノ木戸・ポプラ児童クラブ）》

		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度
量の見込み①		117人	111人	104人	100人	95人
	1年生	43人	42人	37人	39人	34人
	2年生	35人	31人	31人	27人	29人
	3年生	26人	28人	25人	24人	22人
	4年生	13人	10人	11人	10人	10人
	5年生	0人	0人	0人	0人	0人
	6年生	0人	0人	0人	0人	0人
確保方策②		118人	118人	118人	118人	118人
②－①		1人	7人	14人	18人	23人

(3) 放課後児童健全育成事業（児童クラブ）

[第1期]

≪嵐南小学校（嵐南児童クラブ1・2）≫

※H29～5クラス：地域交流室を活用

		平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度
計画	量の見込み①	155人	164人	172人	169人	170人
	確保方策②	151人	151人	200人	200人	200人
	②－①	-4人	-13人	28人	31人	30人
実績	確保量②'	151人	151人	200人	200人	200人
	利用実績①'	160人	163人	189人	208人	193人
	1年生	69人	53人	62人	65人	65人
	2年生	56人	68人	57人	61人	60人
	3年生	34人	42人	61人	52人	47人
	4年生	1人	0人	8人	29人	21人
	5年生	0人	0人	1人	0人	0人
	6年生	0人	0人	0人	1人	0人
	②'－①'	-9人	-12人	11人	-8人	7人

※H29学校の空きスペース活用49人増

≪裏館小学校（裏館児童クラブ）≫H29～2クラス：裏館小学校体育館棟へ移行

		平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度
計画	量の見込み①	65人	61人	65人	71人	74人
	確保方策②	74人	74人	74人	74人	74人
	②－①	9人	13人	9人	3人	0人
実績	確保量②'	74人	74人	74人	74人	74人
	利用実績①'	65人	71人	89人	107人	122人
	1年生	32人	22人	33人	33人	37人
	2年生	15人	30人	26人	29人	35人
	3年生	18人	17人	25人	25人	29人
	4年生	0人	2人	5人	19人	19人
	5年生	0人	0人	0人	1人	1人
	6年生	0人	0人	0人	0人	1人
	②'－①'	9人	3人	-15人	-33人	-48人

[第2期]

≪嵐南小学校（嵐南児童クラブ）≫

		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度
量の見込み①		183人	178人	180人	175人	178人
	1年生	51人	58人	58人	53人	59人
	2年生	70人	54人	63人	62人	57人
	3年生	41人	48人	38人	43人	43人
	4年生	21人	18人	21人	17人	19人
	5年生	0人	0人	0人	0人	0人
	6年生	0人	0人	0人	0人	0人
確保方策②		211人	211人	211人	211人	211人
②－①		28人	33人	31人	36人	33人

≪裏館小学校（裏館児童クラブ）≫

		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度
量の見込み①		117人	114人	100人	89人	86人
	1年生	28人	30人	23人	23人	25人
	2年生	34人	26人	28人	21人	21人
	3年生	37人	36人	27人	29人	22人
	4年生	18人	22人	22人	16人	18人
	5年生	0人	0人	0人	0人	0人
	6年生	0人	0人	0人	0人	0人
確保方策②		91人	91人	91人	91人	91人
②－①		-26人	-23人	-9人	2人	5人

事務室をクラブ室へ変更

(3) 放課後児童健全育成事業（児童クラブ）

[第1期]

《上林小学校（上林児童クラブ）》

		平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度
計画	量の見込み①	31人	37人	36人	41人	42人
	確保方策②	44人	44人	44人	44人	44人
	②－①	13人	7人	8人	3人	2人
実績	確保量②'	44人	44人	44人	44人	44人
	利用実績①'	28人	34人	31人	31人	24人
	1年生	7人	10人	8人	8人	7人
	2年生	14人	8人	12人	9人	4人
	3年生	6人	15人	7人	12人	7人
	4年生	0人	0人	4人	1人	5人
	5年生	1人	0人	0人	1人	1人
	6年生	0人	1人	0人	0人	0人
	②'－①'	16人	10人	13人	13人	20人

《井栗小学校（井栗児童クラブ）》

H29から2クラス

		平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度
計画	量の見込み①	48人	49人	53人	55人	56人
	確保方策②	49人	72人	72人	72人	72人
	②－①	1人	23人	19人	17人	16人
実績	確保量②'	49人	72人	72人	72人	72人
	利用実績①'	48人	65人	79人	70人	67人
	1年生	16人	27人	29人	21人	24人
	2年生	18人	19人	27人	22人	21人
	3年生	13人	16人	17人	18人	14人
	4年生	0人	2人	4人	5人	7人
	5年生	1人	0人	2人	2人	0人
	6年生	0人	1人	0人	2人	1人
	②'－①'	1人	7人	-7人	2人	5人

※H28施設整備23人増

[第2期]

《上林小学校（上林児童クラブ）》

		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度
量の見込み①		33人	34人	41人	47人	42人
	1年生	16人	15人	16人	18人	12人
	2年生	3人	6人	6人	6人	7人
	3年生	10人	7人	15人	14人	15人
	4年生	4人	6人	4人	9人	8人
	5年生	0人	0人	0人	0人	0人
	6年生	0人	0人	0人	0人	0人
確保方策②		44人	44人	44人	44人	44人
②－①		11人	10人	3人	-3人	2人

《井栗小学校（井栗児童クラブ）》

		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度
量の見込み①		73人	81人	79人	83人	78人
	1年生	31人	31人	24人	33人	25人
	2年生	22人	29人	29人	22人	30人
	3年生	14人	15人	20人	20人	15人
	4年生	6人	6人	6人	8人	8人
	5年生	0人	0人	0人	0人	0人
	6年生	0人	0人	0人	0人	0人
確保方策②		80人	80人	80人	80人	80人
②－①		7人	-1人	1人	-3人	2人

(3) 放課後児童健全育成事業（児童クラブ）

[第1期]

＜旭小学校（旭児童クラブ）＞

		平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度
計画	量の見込み①	10人	6人	10人	9人	9人
	確保方策②	14人	14人	14人	14人	14人
	②－①	4人	8人	4人	5人	5人
実績	確保量②'	14人	14人	14人	14人	14人
	利用実績①'	15人	8人	14人	12人	13人
	1年生	8人	4人	7人	3人	4人
	2年生	1人	4人	5人	5人	3人
	3年生	6人	0人	2人	4人	2人
	4年生	0人	0人	0人	0人	4人
	5年生	0人	0人	0人	0人	0人
	6年生	0人	0人	0人	0人	0人
	②'－①'	-1人	6人	0人	2人	1人

＜西鱈田小学校（西鱈田児童クラブ）＞

		平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度
計画	量の見込み①	37人	35人	38人	35人	36人
	確保方策②	48人	48人	48人	48人	48人
	②－①	11人	13人	10人	13人	12人
実績	確保量②'	48人	48人	48人	48人	48人
	利用実績①'	32人	33人	32人	33人	32人
	1年生	12人	15人	9人	13人	10人
	2年生	11人	11人	11人	7人	13人
	3年生	8人	7人	8人	10人	8人
	4年生	1人	0人	4人	3人	1人
	5年生	0人	0人	0人	0人	0人
	6年生	0人	0人	0人	0人	0人
	②'－①'	16人	15人	16人	15人	16人

[第2期]

＜旭小学校（旭児童クラブ）＞

		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度
量の見込み①		18人	12人	12人	18人	15人
	1年生	6人	2人	5人	7人	4人
	2年生	4人	6人	2人	5人	8人
	3年生	1人	1人	1人	1人	1人
	4年生	7人	3人	4人	5人	2人
	5年生	0人	0人	0人	0人	0人
	6年生	0人	0人	0人	0人	0人
確保方策②		14人	14人	14人	14人	14人
②－①		-4人	2人	2人	-4人	-1人

＜西鱈田小学校（西鱈田児童クラブ）＞

		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度
量の見込み①		32人	32人	36人	37人	36人
	1年生	10人	10人	15人	10人	10人
	2年生	12人	13人	12人	18人	13人
	3年生	9人	8人	8人	8人	12人
	4年生	1人	1人	1人	1人	1人
	5年生	0人	0人	0人	0人	0人
	6年生	0人	0人	0人	0人	0人
確保方策②		48人	48人	48人	48人	48人
②－①		16人	16人	12人	11人	12人

(3) 放課後児童健全育成事業（児童クラブ）

[第1期]

≪月岡小学校（月岡・つくし児童クラブ）≫

		平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度
計画	量の見込み①	55人	51人	47人	39人	37人
	確保方策②	73人	73人	73人	73人	73人
	②－①	18人	22人	26人	34人	36人
実績	確保量②'	73人	73人	73人	73人	73人
	利用実績①'	47人	52人	52人	52人	54人
	1年生	23人	23人	16人	22人	26人
	2年生	16人	17人	21人	12人	17人
	3年生	8人	12人	15人	15人	8人
	4年生	0人	0人	0人	3人	3人
	5年生	0人	0人	0人	0人	0人
	6年生	0人	0人	0人	0人	0人
	②'－①'	26人	21人	21人	21人	19人

≪大崎小学校（大崎・松ノ木児童クラブ）≫

H29～
2クラス
H30～4クラス
：大崎学園へ移行

		平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度
計画	量の見込み①	102人	108人	111人	115人	117人
	確保方策②	104人	104人	150人	150人	150人
	②－①	2人	-4人	39人	35人	33人
実績	確保量②'	104人	104人	150人	150人	150人
	利用実績①'	107人	104人	137人	158人	185人
	1年生	38人	44人	55人	49人	66人
	2年生	33人	33人	45人	56人	50人
	3年生	35人	25人	29人	35人	51人
	4年生	0人	2人	6人	16人	18人
	5年生	0人	0人	2人	0人	0人
	6年生	1人	0人	0人	2人	0人
	②'－①'	-3人	0人	13人	-8人	-35人

※H29施設整備46人増

[第2期]

≪月岡小学校（月岡・つくし児童クラブ）≫

		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度
量の見込み①		54人	45人	43人	44人	39人
	1年生	25人	15人	21人	21人	15人
	2年生	20人	20人	12人	16人	16人
	3年生	7人	8人	8人	5人	7人
	4年生	2人	2人	2人	2人	1人
	5年生	0人	0人	0人	0人	0人
	6年生	0人	0人	0人	0人	0人
確保方策②		73人	73人	73人	73人	73人
②－①		19人	28人	30人	29人	34人

≪大崎小学校（大崎・松ノ木児童クラブ）≫

		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度
量の見込み①		190人	180人	183人	157人	164人
	1年生	66人	53人	65人	41人	61人
	2年生	52人	52人	42人	51人	32人
	3年生	54人	56人	56人	45人	55人
	4年生	18人	19人	20人	20人	16人
	5年生	0人	0人	0人	0人	0人
	6年生	0人	0人	0人	0人	0人
確保方策②		163人	163人	163人	163人	163人
②－①		-27人	-17人	-20人	6人	-1人

(3) 放課後児童健全育成事業（児童クラブ）

[第1期]

《保内小学校（保内児童クラブ）》

		平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度
計画	量の見込み①	16人	14人	15人	16人	17人
	確保方策②	42人	42人	42人	42人	42人
	②－①	26人	28人	27人	26人	25人
実績	確保量②'	42人	42人	42人	42人	42人
	利用実績①'	14人	13人	14人	22人	23人
	1年生	2人	4人	7人	11人	5人
	2年生	7人	2人	2人	7人	12人
	3年生	5人	7人	1人	1人	6人
	4年生	0人	0人	4人	2人	0人
	5年生	0人	0人	0人	1人	0人
	6年生	0人	0人	0人	0人	0人
	②'－①'	28人	29人	28人	20人	19人

《大島小学校（大島児童クラブ）》

		平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度
計画	量の見込み①	23人	22人	17人	15人	16人
	確保方策②	15人	15人	20人	20人	20人
	②－①	-8人	-7人	3人	5人	4人
実績	確保量②'	15人	15人	20人	20人	20人
	利用実績①'	26人	26人	27人	16人	19人
	1年生	16人	7人	4人	3人	7人
	2年生	3人	15人	8人	5人	3人
	3年生	7人	4人	13人	7人	4人
	4年生	0人	0人	2人	1人	5人
	5年生	0人	0人	0人	0人	0人
	6年生	0人	0人	0人	0人	0人
	②'－①'	-11人	-11人	-7人	4人	1人

※H29学校の空きスペース活用5人増

[第2期]

《保内小学校（保内児童クラブ）》

		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度
量の見込み①		31人	30人	29人	28人	29人
	1年生	4人	4人	4人	4人	5人
	2年生	11人	9人	10人	10人	9人
	3年生	7人	6人	5人	6人	6人
	4年生	9人	11人	10人	8人	9人
	5年生	0人	0人	0人	0人	0人
	6年生	0人	0人	0人	0人	0人
確保方策②		42人	42人	42人	42人	42人
②－①		11人	12人	13人	14人	13人

《大島小学校（大島児童クラブ）》

		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度
量の見込み①		17人	21人	20人	20人	20人
	1年生	4人	5人	6人	6人	5人
	2年生	5人	3人	3人	4人	4人
	3年生	5人	9人	5人	6人	7人
	4年生	3人	4人	6人	4人	4人
	5年生	0人	0人	0人	0人	0人
	6年生	0人	0人	0人	0人	0人
確保方策②		20人	20人	20人	20人	20人
②－①		3人	-1人	0人	0人	0人

(3) 放課後児童健全育成事業（児童クラブ）

[第1期]

《須頃小学校（須頃クラブ）》

		平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度
計 画	量の見込み①	21人	24人	24人	24人	25人
	確保方策②	16人	26人	26人	26人	26人
	②－①	-5人	2人	2人	2人	1人
実 績	確保量②'	16人	26人	26人	26人	26人
	利用実績①'	20人	28人	26人	30人	46人
	1年生	8人	11人	9人	9人	15人
	2年生	10人	7人	9人	9人	13人
	3年生	2人	10人	5人	10人	9人
	4年生	0人	0人	3人	2人	9人
	5年生	0人	0人	0人	0人	0人
	6年生	0人	0人	0人	0人	0人
	②'－①'	-4人	-2人	0人	-4人	-20人

※H28学校の空きスペース活用10人増

[第2期]

《須頃小学校（須頃クラブ）》

		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度
量の見込み①		45人	41人	43人	42人	54人
	1年生	8人	11人	11人	14人	20人
	2年生	19人	11人	14人	14人	18人
	3年生	6人	10人	5人	7人	7人
	4年生	12人	9人	13人	7人	9人
	5年生	0人	0人	0人	0人	0人
	6年生	0人	0人	0人	0人	0人
確保方策②		45人	45人	45人	45人	45人
②－①		0人	4人	2人	3人	-9人

(3) 放課後児童健全育成事業（児童クラブ）

[第1期]

《栄中央・栄北・大面小学校（さかえ児童クラブ）》

※H29からいちい児童クラブ開設

		平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度
計 画	量の見込み①	69人	76人	78人	85人	84人
	確保方策②	57人	57人	100人	100人	100人
	②－①	-12人	-19人	22人	15人	16人
実 績	確保量②'	57人	57人	100人	100人	100人
	利用実績①'	65人	85人	100人	117人	114人
	1年生 2年生 3年生 4年生 5年生 6年生	23人	40人	42人	32人	44人
		24人	21人	36人	41人	25人
		16人	22人	18人	33人	27人
		1人	1人	3人	9人	14人
		0人	1人	1人	1人	3人
		1人	0人	0人	1人	1人
	②'－①'	-8人	-28人	0人	-17人	-14人

※H29公共施設の空きスペース活用43人増

[第2期]

《栄中央小学校（さかえ児童クラブ）》

		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度
量の見込み①	1年生	16人	21人	11人	18人	14人
	2年生	13人	10人	13人	7人	11人
	3年生	15人	13人	11人	14人	7人
	4年生	10人	9人	8人	6人	8人
	5年生	0人	0人	0人	0人	0人
	6年生	0人	0人	0人	0人	0人
	確保方策②	57人	57人	57人	57人	57人
②－①		3人	4人	14人	12人	17人

《栄北・大面小学校（いちい児童クラブ）》

		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度
量の見込み①	1年生	20人	20人	17人	14人	11人
	2年生	11人	9人	9人	7人	7人
	3年生	10人	10人	8人	8人	7人
	4年生	5人	5人	5人	4人	4人
	5年生	0人	0人	0人	0人	0人
	6年生	0人	0人	0人	0人	0人
	確保方策②	46人	46人	46人	46人	46人
②－①		0人	2人	7人	13人	17人

(3) 放課後児童健全育成事業（児童クラブ）

[第1期]

《長沢・笹岡・大浦小学校（長沢児童クラブ）》

		平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度
計画	量の見込み①	20人	21人	22人	20人	21人
	確保方策②	43人	43人	43人	43人	43人
	②－①	23人	22人	21人	23人	22人
実績	確保量②'	43人	43人	43人	43人	43人
	利用実績①'	27人	25人	35人	32人	40人
	1年生	15人	7人	19人	11人	17人
	2年生	7人	12人	3人	18人	9人
	3年生	5人	6人	13人	3人	14人
	4年生	0人	0人	0人	0人	0人
	5年生	0人	0人	0人	0人	0人
	6年生	0人	0人	0人	0人	0人
	②'－①'	16人	18人	8人	11人	3人

《森町・飯田小学校（飯田児童クラブ）》

		平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度
計画	量の見込み①	12人	12人	13人	16人	16人
	確保方策②	28人	28人	28人	28人	28人
	②－①	16人	16人	15人	12人	12人
実績	確保量②'	28人	28人	28人	28人	28人
	利用実績①'	10人	17人	25人	25人	21人
	1年生	5人	7人	7人	9人	7人
	2年生	3人	6人	8人	5人	8人
	3年生	2人	4人	7人	7人	4人
	4年生	0人	0人	2人	4人	2人
	5年生	0人	0人	0人	0人	0人
	6年生	0人	0人	1人	0人	0人
	②'－①'	18人	11人	3人	3人	7人

[第2期]

《長沢・笹岡・大浦小学校（長沢児童クラブ）》

		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度
量の見込み①		35人	36人	35人	31人	29人
	1年生	16人	16人	16人	10人	12人
	2年生	10人	9人	9人	10人	7人
	3年生	9人	11人	10人	11人	10人
	4年生	0人	0人	0人	0人	0人
	5年生	0人	0人	0人	0人	0人
	6年生	0人	0人	0人	0人	0人
確保方策②		43人	43人	43人	43人	43人
②－①		8人	7人	8人	12人	14人

《森町・飯田小学校（飯田児童クラブ）》

		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度
量の見込み①		22人	21人	21人	20人	19人
	1年生	8人	7人	8人	6人	6人
	2年生	7人	8人	7人	8人	6人
	3年生	5人	4人	4人	4人	5人
	4年生	2人	2人	2人	2人	2人
	5年生	0人	0人	0人	0人	0人
	6年生	0人	0人	0人	0人	0人
確保方策②		28人	28人	28人	28人	28人
②－①		6人	7人	7人	8人	9人

(3) 放課後児童健全育成事業（児童クラブ）

[第1期]

《市全域》

		平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度
計 画	量の見込み①	764人	777人	805人	818人	838人
	確保方策②	914人	947人	1,090人	1,090人	1,090人
	②－①	150人	170人	285人	272人	252人
実 績	確保量②'	914人	947人	1,090人	1,090人	1,090人
	利用実績①'	760人	823人	972人	1,023人	1,079人
	1年生 2年生 3年生 4年生 5年生 6年生	317人	316人	350人	320人	382人
		237人	295人	307人	324人	306人
		199人	201人	255人	258人	263人
		3人	8人	50人	106人	118人
		2人	1人	9人	7人	7人
		2人	2人	1人	8人	3人
	②'－①'	154人	124人	118人	67人	11人

[第2期]

《市全域》

		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度
量の見込み①		1,067人	1,033人	1,008人	969人	953人
	1年生	352人	340人	337人	317人	318人
	2年生	328人	296人	290人	288人	275人
	3年生	256人	270人	246人	245人	241人
	4年生	131人	127人	135人	119人	119人
	5年生	0人	0人	0人	0人	0人
	6年生	0人	0人	0人	0人	0人
確保方策②		1,123人	1,123人	1,123人	1,123人	1,123人
②－①		56人	90人	115人	154人	170人

(4) 妊婦健康診査

妊婦に対して妊娠初期から分娩までの間、健康の保持増進を図り、安全・安心な妊娠、出産に役立てるため、必要に応じて健康診査を行う事業 ※実績等を基に算出

[第1期]

《 市全域 》

	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度
量の見込み	8,285人	8,136人	7,990人	7,847人	7,706人
実績	8,361人	7,853人	7,925人	7,454人	7,363人
確保量・ 確保方策	実施場所：三条市が指定する医療機関等 検査項目：妊婦一般健康診査の項目（健康状態の把握等）及び各種医学的検査（血液検査等） 実施時期：①妊娠初期～妊娠23週：4週間に1回 ②妊娠24～35週 ：2週間に1回 ③妊娠36週～分娩 ：1週間に1回				

※H31は見込

※量の見込みについては、一人当たりの健診回数に見込まれる人数を乗じたもの。

[第2期]

《 市全域 》

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度
量の見込み	7,122人	6,941人	6,688人	6,507人	6,290人
確保量・ 確保方策	実施場所：三条市が指定する医療機関等 検査項目：妊婦一般健康診査の項目（健康状態の把握等）及び各種医学的検査（血液検査等） 実施時期：①妊娠初期～妊娠23週：4週間に1回 ②妊娠24～35週 ：2週間に1回 ③妊娠36週～分娩 ：1週間に1回				

※量の見込みについては、一人当たりの健診回数に見込まれる人数を乗じたもの。

【積算根拠】

健診回数は最大で14回であるが、実績における健診回数の平均が12.05回であることから、これを推計出生数に乗じて算定

(5) 地域子育て支援拠点事業

公共施設や保育所等の地域の身近な場所で、子育て中の親子の交流・育児相談等を行う事業
※調査結果を基にした推計と利用実績との乖離が大きいため、利用実績から算出

[第1期]

≪ 市全域 ≫

			平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度
計 画	量の見込み ① (1日当たり)		300人	310人	310人	310人	310人
	確 保 方 策	子育て拠点施設 (1日当たり)	100人 1か所	200人 2か所	200人 2か所	200人 2か所	200人 2か所
		子育て支援 センター (1日当たり)	140人 7か所	140人 7か所	140人 7か所	140人 7か所	140人 7か所
		合計②	240人	340人	340人	340人	340人
		②－①		-60人	30人	30人	30人
実 績	確 保 量	子育て拠点施設	100人	200人	200人	200人	200人
		子育て支援 センター	140人	140人	140人	140人	140人
		合計③	240人	340人	340人	340人	340人
	利 用 実 績	子育て拠点施設	141人	300人	277人	243人	239人
		子育て支援 センター	116人	99人	91人	86人	82人
		合計④	257人	399人	368人	329人	321人
	③－④		-17人	-59人	-28人	11人	19人

※定員はないため、確保量以上の利用は可能

※H31は見込

[第2期]

≪ 市全域 ≫

※実際の表記は延べ人数（次ページ）

		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度
量の見込み① (1日当たり)		321人	318人	317人	306人	297人
確保 方策	子育て拠点施設 (1日当たり)	200人 2か所	200人 2か所	200人 2か所	200人 2か所	200人 2か所
	子育て支援 センター (1日当たり)	140人 7か所	150人 8か所	160人 8か所	160人 8か所	160人 8か所
	合計②	340人	350人	360人	360人	360人
	②－①	19人	32人	43人	54人	63人

※延べ人数での量の見込み及び確保方策を報告する必要があるため、第2期では延べ人数での記載とする。

[第 1 期]

[第 2 期]

※参考：延べ人数での実績 (延べ人数)

			平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度
実績	確保量	子育て 拠点施設	33,600人	67,200人	67,200人	67,200人	67,200人
		子育て支援 センター	34,020人	34,020人	34,020人	34,020人	34,020人
		合計③	67,620人	101,220人	101,220人	101,220人	101,220人
	利用実績	子育て 拠点施設	47,722人	97,121人	93,229人	81,678人	80,360人
		子育て支援 センター	28,068人	23,970人	22,029人	20,871人	20,100人
		合計④	75,790人	121,091人	115,258人	102,549人	100,460人
	③－④		-8,170人	-19,871人	-14,038人	-1,329人	760人

※H31は見込

※確保方策：子育て拠点施設 100人×336日×2施設＝67,200人
子育て支援センター 20人×243日×7施設＝34,020人

《 市全域 》 (延べ人数)

		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度
量の 見込み	子育て 拠点施設	80,240人	78,090人	76,280人	73,600人	71,640人
	子育て支援 センター	19,900人	20,810人	21,760人	21,130人	20,460人
	合計 ①	100,140人	98,900人	98,040人	94,730人	92,100人
確保 方策	子育て 拠点施設	67,200人	67,200人	67,200人	67,200人	67,200人
		2か所	2か所	2か所	2か所	2か所
	子育て支援 センター	34,020人	36,450人	38,880人	38,880人	38,880人
		7か所	8か所	8か所	8か所	8か所
	合計 ②	101,220人	103,650人	106,080人	106,080人	106,080人
②－①		1,080人	4,750人	8,040人	11,350人	13,980人

※市民の利便性の向上を図るため、令和3年度途中に新たに子育て支援センターを開設予定（令和3年度は半年分→4,860人÷2＝2,430人）

【積算根拠】 ※利用回数はH29・30の平均とした

[子育て拠点施設] 推計人口(0-6歳児)×2(親子)×利用回数

	推計 人口	親子	利用回数		利用者数		合計 (端数調整)
			すまいる	あそぼって	すまいる	あそぼって	
令和2年	4,665	9,330	3.3	5.3	30,789	49,449	80,240
令和3年	4,540	9,080	3.3	5.3	29,964	48,124	78,090
令和4年	4,435	8,870	3.3	5.3	29,271	47,011	76,280
令和5年	4,279	8,558	3.3	5.3	28,241	45,357	73,600
令和6年	4,165	8,330	3.3	5.3	27,489	44,149	71,640

[子育て支援センター] 推計人口(0-2歳児)×2(親子)×利用回数

	推計 人口	親子	利用 回数	利用者数	新設分 利用者数	合計 (端数調整)
令和2年	1,877	3,754	5.3	19,896	—	19,900
令和3年	1,808	3,616	5.3	19,165	1,646	20,810
令和4年	1,752	3,504	5.3	18,571	3,189	21,760
令和5年	1,701	3,402	5.3	18,031	3,096	21,130
令和6年	1,647	3,294	5.3	17,458	2,998	20,460

※新設分は、全利用者数の約13%、利用回数は7回とした。

(6) 乳児家庭全戸訪問事業（こんにちは赤ちゃん訪問事業）

生後4か月までの乳児のいる全ての家庭を訪問し、子育て支援情報の提供や養育環境等の把握を行い、必要なサービスにつなげる事業

[第1期]
《市全域》

	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度
量の見込み	737人	732人	728人	723人	719人
実績	722人	695人	666人	626人	588人
確保方策	実施体制：助産師、看護師等による家庭訪問 実施機関：子育て支援課				

※H31は見込

[第2期]
《市全域》

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度
量の見込み	591人	576人	555人	540人	522人
確保方策	実施体制：助産師、看護師等による家庭訪問 実施機関：子育て支援課				

【積算根拠】
推計出生数から算定

(7) 養育支援訪問事業

子育てに対して不安や孤立感等を抱える家庭等で、養育支援が必要な家庭を対象に、保護者の育児、家事等の能力を向上させるため、相談や育児・家事支援を行う事業

[第1期]
《市全域》

	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度
量の見込み	110人	110人	110人	110人	110人
実績	22人	43人	50人	16人	28人
確保方策	実施体制：助産師等による家庭訪問 実施機関：子育て支援課				

※H31は見込

[第2期]
《市全域》

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度
量の見込み	50人	50人	50人	50人	50人
確保方策	実施体制：助産師等による家庭訪問 ：子育て支援者、ヘルパー等による訪問 実施機関：子育て支援課				

【積算根拠】
実績及び現在の支援対象家庭の状況等を勘案し、過去の最大値を見込みとした。

(8) 子育て短期支援事業

保護者の疾病や仕事等により、児童の養育が一時的に困難になった場合等に児童養護施設などで一時的に児童を預かる事業

[第1期]

市内に該当施設がないため実施せず、必要に応じて児童相談所に依頼して対応した。

[第2期]

従来から児童相談所の一時保護や里親委託等で対応しているため、第2期においても実施しないこととする。

(9) 子育て援助活動支援事業（ファミリー・サポート・センター事業）

乳幼児や小学生等の児童を有する子育て中の労働者や主婦等を会員として、児童の預かりの援助を受けたい者と当該援助を行いたい者との相互援助活動に関する連絡、調整を行うことにより、地域における育児の相互援助活動を推進する事業

[第1期]

第1期では、実施することとしていたが、市内民間団体の状況や他市等の現状等を踏まえて検討した結果、実施しないこととした。

[第2期]

第2期においても実施しないこととする。
（本事業は、事前登録後にアドバイザーによるマッチングを受けての利用開始となり、申込みから実際の利用までにある程度の時間がかかるため、利用したいときにすぐ利用できない。加えて、民間の類似事業があるため、従来どおり従事者の養成・スキルアップのための講座実施による支援を行っていく。）

《 市全域 》

	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度
量の見込み	1,000人	1,000人	1,000人	1,000人	1,000人
確保方策	0人	0人	1,000人	1,000人	1,000人
	0か所	0か所	1か所	1か所	1か所
実績	0か所	0か所	0か所	0か所	0か所

(10) 延長保育事業

保育認定を受けた子どもについて、通常の利用日及び利用時間以外の日等において、認定こども園、保育所等で保育を実施する事業 ※調査結果を基にした推計と利用実績との乖離が大きいため、利用実績から算出

[第 1 期]

《 市全域 》

		平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度
計画	量の見込み	548人	544人	544人	543人	540人
	確保方策	3,046人	3,022人	3,022人	3,017人	3,002人
		28か所	29か所	29か所	28か所	28か所
実績	確保量②	3,070人	3,085人	3,141人	3,196人	3,196人
	利用実績①	231人	261人	262人	297人	325人
	②－①	2,839人	2,824人	2,879人	2,899人	2,871人

※H31は見込

[第 2 期]

《 市全域 》

		令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
量の見込み		340人	338人	328人	319人	310人
確保方策		3,186人	3,205人	3,205人	3,205人	3,205人
		31か所	31か所	31か所	31か所	31か所

参考：学園別資料

《 三条嵐南学園地域 》

		令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
量の見込み		66人	64人	63人	62人	61人
確保方策		610人	610人	610人	610人	610人
		6 か所	6 か所	6 か所	6 か所	6 か所

【積算根拠】

R 2 年度はH31年度と同数とするが、R 3 年度以降は、児童見込み数の減少に合わせ（年平均12人減×定員に対する過去5年間の平均延長保育利用率7.8%）1 人（0.9 人）ずつの減とした。

《 一ノ木戸学園地域 》

		令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
量の見込み		33人	36人	35人	34人	33人
確保方策		336人	355人	355人	355人	355人
		4 か所	4 か所	4 か所	4 か所	4 か所

【積算根拠】

R 2、3 年度はH29・30年度の増加数等を反映するが、R 3 年度以降は、児童見込み数の減少に合わせ（年平均7 人減×定員に対する過去5 年間の平均延長保育利用率 7.5%）1 人（0.5 人）ずつの減とした。

《 三条学園地域 》

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度
量の見込み	35人	35人	34人	33人	32人
確保方策	315人	315人	315人	315人	315人
	3か所	3か所	3か所	3か所	3か所

【積算根拠】

R2、3年度はH29・30年度の増加数等を反映するが、R3年度以降は、児童見込み数の減少に合わせ（年平均6人減×定員に対する過去5年間の平均延長保育利用率10.3%）1人（0.6人）ずつの減とした。

《 四つ葉学園地域 》

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度
量の見込み	47人	47人	46人	45人	44人
確保方策	460人	460人	460人	460人	460人
	3か所	3か所	3か所	3か所	3か所

【積算根拠】

R2、3年度はH29・30年度の増加数等を反映するが、R3年度以降は、児童見込み数の減少に合わせ（年平均7人減×定員に対する過去5年間の平均延長保育利用率7.8%）1人（0.5人）ずつの減とした。

《 瑞穂学園地域 》

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度
量の見込み	43人	43人	42人	41人	40人
確保方策	315人	315人	315人	315人	315人
	3か所	3か所	3か所	3か所	3か所

【積算根拠】

R2年度はH31年度と同数とするが、R3年度以降は、児童見込み数の減少に合わせ（年平均6人減×定員に対する過去5年間の平均延長保育利用率10.7%）1人（0.6人）ずつの減とした。

《 三条おおじま学園地域 》

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度
量の見込み	23人	22人	20人	19人	18人
確保方策	130人	130人	130人	130人	130人
	1か所	1か所	1か所	1か所	1か所

【積算根拠】

R2年度はH31年度と同数とするが、R3年度以降は、児童見込み数の減少に合わせ（年平均2人減×定員に対する過去5年間の平均延長保育利用率12.46%）1人（0.25人）ずつの減とした。

《 大崎学園地域 》

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度
量の見込み	38人	38人	37人	36人	35人
確保方策	390人	390人	390人	390人	390人
	4か所	4か所	4か所	4か所	4か所

【積算根拠】

R2、3年度はH29・30年度の増加数等を反映するが、R3年度以降は、児童見込み数の減少に合わせ（年平均8人減×定員に対する過去5年間の平均延長保育利用率6.6%）1人（0.5人）ずつの減とした。

《 さかえ学園地域 》

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度
量の見込み	28人	27人	26人	25人	24人
確保方策	320人	320人	320人	320人	320人
	3か所	3か所	3か所	3か所	3か所

【積算根拠】

R2年度はH31年度と同数とするが、R3年度以降は、児童見込み数の減少に合わせ（年平均7.5人減×定員に対する過去5年間の平均延長保育利用率8.06%）1人（0.60人）ずつの減とした。

《 しただの郷学園地域 》

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度
量の見込み	27人	26人	25人	24人	23人
確保方策	310人	310人	310人	310人	310人
	4か所	4か所	4か所	4か所	4か所

【積算根拠】

R2年度はH31年度と同数とするが、R3年度以降は、児童見込み数の減少に合わせ（年平均6.7人減×定員に対する過去5年間の平均延長保育利用率6.81%）1人（0.46人）ずつの減とした。

(11) 病児・病後児保育事業

病気又は病気回復期にあるため集団保育が困難かつ保護者の事情により家庭で保育できない児童を医療機関等に付設された専用スペース等において、看護師等が一時的に保育を実施する事業
※調査結果を基にした推計と利用実績との乖離は大きくなかったため、実績も勘案して算出

[第 1 期]

[第 2 期]

≪ 市全域 ≫

	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度
量の見込み	1,000人	1,000人	1,000人	1,000人	1,000人
確保方策	0人	1,000人	1,000人	1,000人	1,000人
	0か所	1か所	1か所	1か所	1か所
実績	—	549人	712人	715人	829人
確保方策 —実績	—	451人	288人	285人	171人

※H31は見込

≪ 市全域 ≫

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度
量の見込み	1,000人	1,000人	1,000人	1,000人	1,000人
確保方策	1,000人	1,000人	1,000人	1,000人	1,000人
	1か所	1か所	1か所	1か所	1か所

【積算根拠】
開所日…242日/年概ね 一日当たりの利用数見込み4.1人
量の見込み…実績数（H30）715人＋290人（H29、H30キャンセル人数計の平均）
キャンセル分も利用見込みとして勘案し1,000人とする。

(12) 実費徴収に係る補足給付を行う事業

保護者の世帯所得の状況等を勘案して、特定教育・保育施設等に対して保護者が支払うべき日用品、文房具その他の教育・保育に必要な物品の購入に要する費用又は行事への参加に要する費用等を助成する事業

(13) 多様な事業者の参入促進・能力活用事業

多様な事業者の新規参入を支援するほか、私立認定こども園における特別な支援が必要な子どもの受け入れ体制を構築することで、良質かつ適切な教育・保育等の提供体制の確保を図る事業

⇒ (12) 及び (13) の事業については、量の見込み及び確保方策は不要